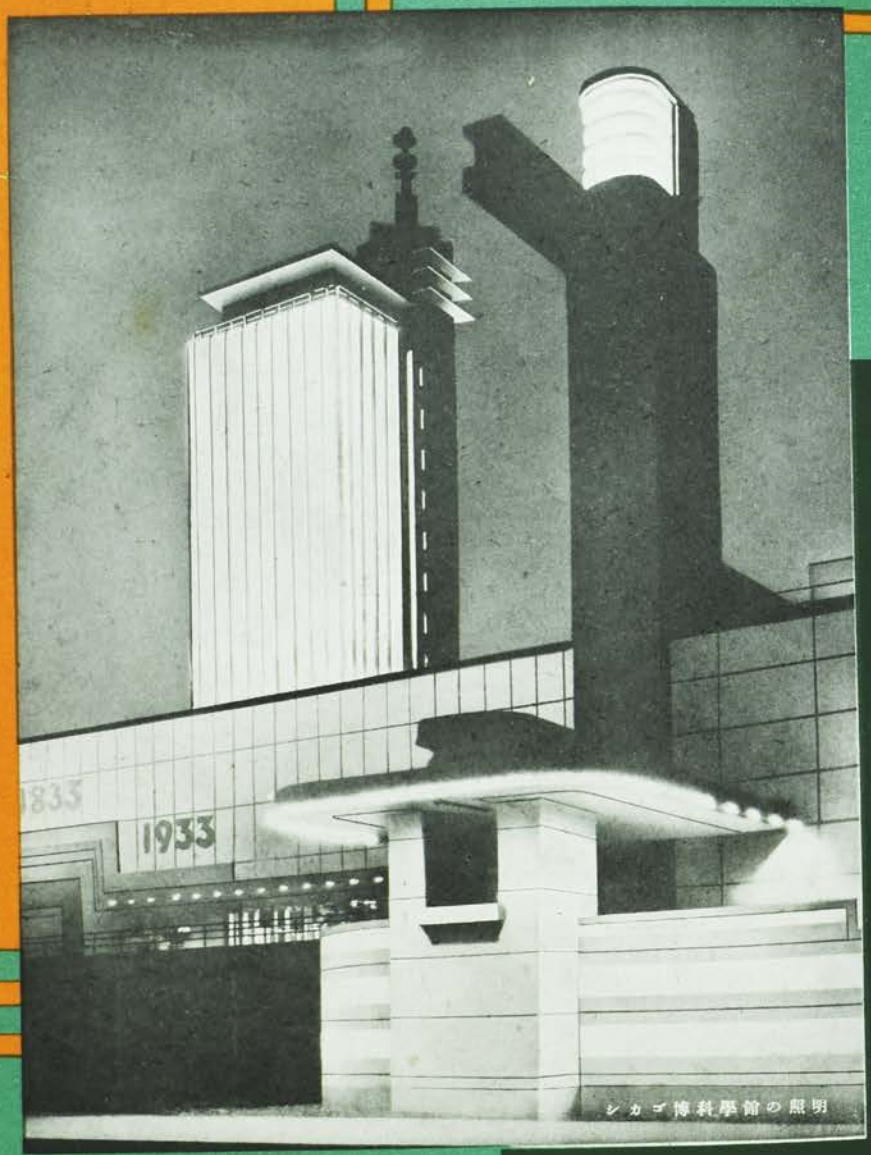
マツダ新報



シカゴ博物學館の照明

昭和八年十月號

No.10 VOL. 20

東京電氣株式會社

マツダ電氣時計

正確と經濟

嚴密な試験を經たマツダ電氣時計は
電燈線へ接續して直ちに働き注油
掃除の手數省け常に狂ひなく電氣量
も十六燭光の十分の一

一號型	置時計	一四圓五〇
一〇一號型	十二角掛時計	一三、〇〇
二〇八號型	丸型掛時計	一五、五〇
二一二號型	丸型掛時計	一八、〇〇
二一五號型	丸型掛時計	二四、〇〇

時計は電燈線から

東京電氣株式會社　川崎市

マツダ新報第二十卷第十號（昭和八年十月號）目次

思ひ浮ぶまゝを……元東京市電氣局 電燈課長 小川榮次郎…（二）
大阪の電氣サイン展覽會……大阪市電氣局 電氣普及館 内田幸夫…（一〇）
一方亭の照明を見る……九州水力電氣會社 營業第二課 日時本一虎…（一四）
シカゴ大博覽會參觀記……東京電氣株式會社 研究所技師 松井邦寧…（一六）
ニユース……編輯部…（二八）
照明……（二八）
製品……（二九）
ラヂオ……（三二）
照明學校……（三三）
雜報……（三四）
海外……（三四）
浮世繪の美人の落籍……近松秋江…（三六）
編輯後記に代へて……（四〇）

思ひ浮ぶまゝを

――第十三回マツダ照明講習會講演――

元東京市電氣局
電燈課長　小川榮次郎

私は只今御紹介をいたゞきました小川でございます。私は永らく東京市の電燈事業に携はつて居りましたが、眼を惡くいたしました爲に數年前職を辭して以來、電燈事業の現業とは全くかけはなれて居る者でございます。謂はゞ枯木も同然のものであります。枯木も山の賑ひとか申しますが、私が今日斯うして御邪魔いたしましたのも、山に賑ひを添へる枯木の役をつとめんが爲であります。枯木には花も實もありません。私の話には何のうるほひも味ひもありません。この點は豫め御容赦をお願ひいたして置きます。

先づ最初に街路照明のことについて、少しく申し述べて見やうと思ひます。

電氣工作物規程が昨年十二月一日に改正實施されましたことは、皆樣疾うに御承知のことゝ存じますが、この改正を街路照明の立場から眺めます時に誠に、結構であると考へられることが一つあります。其は街路電燈のやうなものに對する電線工事の方法が、簡易なものであつてもよろしいやうになつたことであります。街路の片側若くは兩側に建て竝べた街路電燈に電線を引込むのに、其等の柱を支持物として之に電線をかけ渡し、其から各電燈に引込線を分けるやうにすることが許されますならば、工事が容易であり又費用も少くて濟むのでありますが、從前の電氣工作物規程ではこれが許されて居なかつたのであります。從前は此のやうな工作物は一般の架空電線路と同じ樣に見られ、其が市街地の道路には二個以上の架空電線路を設けてはならぬといふ規定に牴觸するものと解釋されて面倒な取扱を受けて居つた爲に、街路電燈に對する電線工事は大體地中線に依らなければならなかつたのであります。

然るに先般の改正に依つて電燈の柱に電線をかけ渡したものは、屋外照明用架空電線路として一般の架空電線路とは區別して取扱はれることになり、街路電燈に對してはこの樣な工事方法を用ひてもよろしいことになつたのであります。技術の御方は改正電氣工作物規程第百四條を御覽になればよくお分りのことゝ存じます。我が國の街路照明は未だ極めて幼稚な狀態にありまして、これから大に普及發達させなければならぬ時にあると考へられるのでありますが、街路電燈に對する電線工事が費用の多くかゝる地中線に依らなければならぬことになつて居るとすると、これが爲に街路照明の普及發達が沮害される傾のありますことは明なことでありまして、之については規程の改正なり或は取扱の上で、相當の手心を加へるなりする必要があると考へられましたので、私たちも監督當局に希望を申出でて置いたことがありましたが、先般の改正に當つてこの希望がかなへられて、前に述べたやうなことになつたのであります。こ

の改正は時宜を得たもので誠に結構なことであると考へられるのであります。これによつて街路照明は一層入り易いものとなり、電燈事業者に取つてはこの方面の需要喚起に一層都合よくなつたと考へられます。しかし此のやうな電線工事の方法は決して理想的のものではありません。この種の電線は低い所に張られ勝ちであり、さういふ電線が幾本も街路の上に引き廻されることは、其だけ多く交通に妨害を與へる虞のあるもので、又保安の上からしても感心出來ないものであります。この様な工事方法を採用するならば其が交通の妨害となつたり、其から危險が起つたりすることのない様に、電燈事業者は常に十分に注意を拂ふことが必要であると考へます。

又街路電燈が本格的の街路照明施設の姿におちつくやうな時期になれば、之を地中式に改造して行くやうにすることも必要であると考へます。外國の大都市の中心地區では電燈電力線を地中式にして居る所が少くありません。例へば紐育のマンハッタン區では、電燈電力線も電話線も電車線もすべて地中式にして居ります。其には種々の理由があるのでありますが、火事の際に消防隊の活動を妨害しない爲といふ様なことも、其の理由の一つになつて居ると考へられるのであります。我が國の都市でも街路に種々に電線が引き廻されてあると、火事の時に消防隊の活動が妨害されはしまいかと懸念される所もあるやうに見受けられます。斯ういふ所では街路電燈に對する電線工事は一時の方便として架空式にして置くのも已むを得ますまいが、適當な時期には之を地中式に改造する様にする必要があると考へます。電燈事業者はこの用意を以て改正電氣工作物規程第百四條に臨むべきであると私は考へます。これが街路照明のことについて申し述べたい第一の點であります。

街路照明のことについて結構だと考へられることをもう一つ申し述べやうと思ひます。私は昨年の春久しぶりで旅行をして靜岡へ參りました。其の時に市の電氣部の方々にお目にかゝり、靜岡市では街路照明の爲に電氣部の配電線路の各電柱に、電燈一箇づゝを取附けたといふ話を聞かされて大變愉快に感じました。同市では十六燭から上の電燈約三千三百箇を斯うして全市の街路につけて居るとのことでありますが、この話を聞かされた時に私は百年の知己に會うたやうな氣持ちがいたしました。街路照明は道路の管理者たる都市が統一的に且つ普遍的に施設すべきものであるといふ主張を、私は豫ねてから持論として來た者でありますが、私のこの持論が靜岡市に於いて實現されて居つたのでありました。この施設は一切電氣部の負擔即ち電氣部が無料で之をつけて居るのださうでありますが、其は市が街路照明施設の費用の財源を其の經營する電燈事業の經濟の餘裕に仰いで居るものと見ればよろしいことでありまして、兎も角も靜岡市は全市に亘つて統一的に、且つ普遍的に街路照明施設をして居るのであります。

我が國の地方の都市の街路のやうに道路の幅員の左程廣くない所では、街路電燈の支持物として電燈事業者の電柱を利用することが良策であることは又私の持論でありますが、靜岡市ではこれも實現されて居るのであります。斯うすることは路上工作物整理の上からも經費節約の上からも、望ましいことであると私は信じて居るものでありますが、これが其の通り靜岡市で實行されて居るのであります。靜岡市は實に他の都市に率先して本格的街路照明の第一歩を踏

み出して居るのであります。私は私の持論が斯うして靜岡市で實現されて居るのを見て誠によろこばしく感じたと共に、市理事者の此の賢明な措置に對して禮讃の辭を禁じ得なかつたのであります。靜岡市は自ら電燈事業を經營して居り、其の電燈事業は裕福である爲に、此のやうに早く本格的の街路照明の第一歩を踏み出すことが出來たのでありませうが、たとひ斯ういふ便宜を持つて居ない都市でも、都市に其の意志さへあればこのやうにすることが出來るに相違ないと、私は信じ且つ其を祈る者であります。

近來街路照明に關する一般の理解が可なり進んで來たやうでありますが、未だ決して十分ではないと考へられます。貸家を作ればこれに電燈を取附けなければならぬことを氣付かずに居る家主はないでありませうが、道路を作れば夜を明るくする爲に街路照明施設をしなければならぬことを、心得て居る道路管理者は未だ澤山はないと思ひます。私は前に

佛作つてたましひ入れず
舗裝道路の夜のやみ

といふ都々逸を作つて皮肉つたことがありますが、この皮肉は今でも通用するものと思つて居ります。道路を作れば舗裝をしたり街路樹を植ゑたりする必要のあることを氣付かずに居る管理者はありますまいが、夜を明るくする爲に街路電燈をつけなければならぬことを氣付かずに居る管理者は未だ少くないやうに見受けられます。街路照明について十分な理解を持たないのは道路の管理者ばかりではありません。電燈事業者や電燈器具の製造販賣業者の中にもあるやうに見受けられます。電燈事業者や電燈器具の製造販賣業者にして街路照明の必要を理解しない者はもはやありますまいが、しかし本格的街路照明は如何あるべきものかといふことについて迄、徹底して理解して居る者は未だ多くないやうに見受けられるのであります。

電燈事業者の中には街路電燈の類に對して料金の割引を行つて、其の普及に骨を折つて居る者もあります。電燈器具の製造販賣業者の中には街路照明器具の月賦販賣の途を開いて勉強して居る向もあります。其の努力は誠に多とすべきものでありますが、惜しむらくは肝心な一點を逸して居る者が多い様に見受けられます。其は需用者としての相手の捕へ方を誤つて居ることであります。街路照明の責任者である道路の管理者を何處までも相手とすべきであるに拘らず、他の者を相手として居ることであります。これは謂はゞ横道に外れて居るものでありまして、これによつて本格的の街路照明の普及發達を期することは無理なことであると考へられます。

本格的の街路照明の普及發達を期するには、其の責任者である道路管理者を相手として行くことが、其の本筋であることを電燈事業者も電燈器具の製造販賣業者も先づ自らよく理解し、然る上で夫々關係の道路管理者に働きかけ、倦まず撓まず之を啓發し指導しこれに援助し、共力する様にすることが是非必要であると思ふのであります。斯うして行くにしても種々の困難があるに相違ないのでありますが、其も押しつめて見ればすべて經濟問題に歸着するものと考へられます。電燈事業者も電燈器具の製造販賣業者もこの點を考慮して、さし當つては靜岡市の街路照明施設の様に、實用本位の施設で濟む様に手を引いてやることが必要であると思ひます。これらの

ことは私どもが聲を大にして主張して來た所でありますが、未だ其の徹底を見るに到らないのは遺憾に堪へない所であります。若し皆様の中に私の主張に御賛成の方がありましたならば、何卒この精神を高調し擴充し、そして斯道の爲に御骨折り下さいます様に切望する次第であります。

街路照明のことについてもう一事申し述べて見度いことがあります。其は街路電燈の保守はともすると等閑にされ勝ちなものであるが、これについても電燈事業者は一層忠實に働きかける様にする必要があるのではあるまいかといふことであります。街路電燈についてはあかりが消えたまゝになつて居たり、器具か破れたまゝになつて居たり、グローブが埃にまみれて眞黒になつたまゝになつて居たりする様なことをよく見受けます。一つの實例を申し上げますと、東京の日比谷の交叉點から大手町に至る間の御濠端にボールヘッド型の街路電燈が二十基ばかり建てゝありますが、其の中にグローブの無くなつたものやグローブの上の金物の吹き飛ばされたものが五、六箇つゝ一昨日迄、久しい間其のまゝにほうつてあるのが見受けられました。場所柄でありますからすでに御目にとめられた方があつたかも知れませんが、實は其は昨年十一月十五日の大暴風雨の時に破れたものが、一昨日まで其のまゝにほうつて置かれてあつたのであります。この街路電燈は東京市の土木局が建て電氣局から電氣を送つて居るものであります。私は今年の一月に電氣局へ御注意申し上げたのでありますが、一向に直される様子がありませんでした。私は又この間電氣局へ御注意申し上げた處が、あれについては土木局の方へさういうてやつたのであつたが、土木局の方に豫算がないといふので其のまゝになつて居る。もはや年度もかはつたから今度は直るだらうとのことでありましたが、數日たつと立派に直つて居ました。

街路電燈が幾つか破れたのに豫算がないからとて、半年近くも其のまゝにして置くのも困つたものであります。これは私の恥、私の居りました東京市の恥をさらけ出すことになるのでありますが、丁度よい例になりますので引合に出したのであります。これは隨分極端な例でありますが、たとひこれ程でなくとも之に類したことは、東京市以外に於いても見受けられる様に思ひます。街路電燈の保守がこのやうに等閑にされ勝ちであるについては種々の原因がある様に考へられます。其等の施設の管理の任に當る立場の人は、自分で其の電燈の恩惠に浴する次第でもない爲に、仕事が自然にお役目仕事に惰落し勝ちであることも、其の原因の一つであると考へられます。需用者側の電燈についての智識が十分でないことも、其の原因の一つであると考へられます。

又其等の施設の管理については需用者側では電燈事業者をあてにし、電燈事業者の方では需用者側をあてにして居る爲に、兩者の諒解の間に何程かの隙間があることも其の原因の一つであると考へられます。この種の需用については電燈事業者は特に意を用ひ、其の保守について需用者側との間の諒解に少しも隙間を殘さないやうにする必要があると共に、たとひ保守の責任を需用者側に負はせるとしても、常に之を啓發し指導し督勵して、其の保守の上に遺憾のないやうにする必要があると思ひます。街路電燈が破れやうが消えやうがこちらの知つたことではないと、電燈事業者が涼しい顔をして

居るべきではないと思ひます。

街路照明のことはこれだけにして、其の他のことを少しく申し述べて見やうと思ひます。

皆様御承知の通り電氣の新しい利用は駸々として進んで居ります。新式の電氣機械器具は續々と市場に現はれて來つゝあります。ラヂオにしても電氣時計にしても電燈線とは緣のないものと考へられて居たものが、今では電燈線に結びついてしまひました。我が國の電燈事業者のすべては、この趨勢を無條件に結構なりとして之を迎へつゝあるか如何か、私は疑を持つて居る者であります。東京に於ける様に電燈事業者が既に其の用意を整へて居る所では、多々益々辯ずとして双手を擧げて之を迎へて居るに相違ありますまいが、所によつてはこの趨勢に直面して所謂痛し痒しの狀態で當惑して居る向もあるのではありますまいか。先日開かれた電氣協會の總會の際に、電燈電力部會の研究會でバイタライト電燈の定額料金は如何定めたらよいかとか、アイロンや炬燵等による電氣の盜用を防止するのには、如何したらよいかとかいふやうな問題が論議されましたが、これから見ましても此等の問題について、何程かの惱みを持つて居る電燈事業者があるのではないかと想像されます。私の關心はこの點にかゝつて居るのであります。

電氣の新しい利用の電燈事業者に對する注文は種々あるやうでありますが、之を押しつめて見ると需用者に對する晝夜送電を一層普遍的にして貰ひ度いといふことゝ、料金を適切に定めて欲しいといふことの二つに歸着すると考へられます。例へばラヂオの様なものにしても、電氣時計の様なものにしても、これが普及の爲には電燈事業者が一層廣く晝夜送電を行ふやうにすることが必要であり、需用者にして之を望む向が益々多くなつて來つゝある様に見受けられます。電氣が瓦斯や水と同じやうに四六時中いつでも使へる様になつて欲しいといふ要望は、益々普遍的なものとなりつゝある様に見受けられます。

しかし電氣の需用の中には時代が如何に進まうとも、依然として夜間だけの送電でよろしいものがあります。街路電燈の類が其であります。電氣利用の進歩につれて電燈事業者が普遍的に晝夜送電をすることゝしましても、街路電燈の類に對しては夜間だけの送電をする様にしなければならぬことになります。卽ち大部分の需用者に對しては晝夜送電をするとしても、一部の需用者に對しては夜間送電をする様にしなければならぬことになります。其が爲には配電設備を二重にする必要があり、其だけ更に資本を投じなければならぬことになりますが、其の結果若し需用が增加して大丈夫、收支償ふやうになると見究めがつくものでありましたならば、電燈事業者としては何等躊躇する所はないでありませうが、しかし此の見究めをつけることは容易ではなからうと存じます。電燈事業者の惱みの一つはこゝにあるのではありますまいか。

電氣の新しい利用の電燈事業者に對するもう一つの注文、卽ち料金を適切に定めて欲しいといふことについて考へて見ますにこれも簡單には片づけられない問題であると思ひます。電氣の需用の中には電氣時計のやうに四六時中間斷なく電氣の要るものもあります。午砲用のモーターサイレンのやうに毎日一定時刻に、僅かな時間だけしか電氣を使はないものもあります。アイロンのやうに家庭用の

ものと職業用のものとでは、電氣の使ひ方に可なりの相違かあるであらうと考へられるものもあります。バイタライト電燈のやうに照明用にも醫療用にも養鷄用にも供されるものもあります。之に對して定額料金を定めるとしたら如何でありませうか。ラヂオや電氣時計のやうなものについては需用者の電氣の使ひ方の間に類似性があり、又其の電氣消費量の推定にも左程の困難もないから、適當な料金を定めることは困難でなく、又たとひ料金が多少不當であつても、本來此の種のものは所要電力が小いもので、從つて其の料金も左程嵩ばるものではありませんから、其の普及の上に其程影響することはありますまいが、其の他のものについては必しもさうではないと考へられます。例へばアイロンにいたしましても、職業用のものと家庭用のものとでは、料金を別々に定める必要がありませう。しかし職業用といひ家庭用というても、其の區別は必しも容易でなく又同じく職業用のものでも或は家庭用のものでも、需用者によつて電氣の使ひ方に可なりの相違のある場合もあると考へられます。

從つて需用者から見て適切であるといふ料金は、結局需用者毎に定められなければならぬことにもなりませう。斯くの如きことは實行不可能のことゝ考へられます。假りに其の料金を數種に區分して定めることが出來るとしても、適當な料率を割り出すことは容易ではありますまい。若し料金が安過ぎれば電燈事業者は損をします。若し料金が高過ぎれば其の普及の實現を見ることが困難であるのみならず、電氣の盜用が盛になりはしないかといふ懸念も生れて參ります。アイロン一つの定額料金を定めるとしても、このやうに面倒なことになります。況やバイタライト電燈や其の他のものゝ料金を定めるに於いておやであります。其のみならず此等のものゝ爲に晝夜送電をするものとすると、電力の冗費が可なり多くなる虞のあることも無視することの出來ないものとなりませう。斯うして考へて來ると、此の種の需用に對して定額料金を定めることは容易なことではないと考へられます。電燈事業者の惱みの一つはこゝにもあるのではありますまいか。

電氣の新しい利用が電燈事業者に注文する所は、結局晝夜送電の從量供給にあるのではありますまいか。我が國各都市に於ける電燈事業は、早晩この問題を解決すべく運命つけられて居るのではありますまいか。しかしこれは電氣取引の慣行に一大變革を來すものでありまして、之をいつ如何樣に解決すべきかは電燈事業者が愼重に考慮し、果斷に決意しなければならぬ所と考へます。電燈事業者の惱みの焦點は實にこゝにあるのではありますまいか。

私も東京市の電燈事業に携はつた身として、今から十數年前に同じ樣に惱まされた經驗を持つて居ります。其の當時東京に於ける電燈事業も夜間送電定額供給を本位として居つたのでありますが、電氣利用進歩の趨勢からしますと、早晩之を晝夜送電、從量供給本位に改めなければならぬことになるであらうと察知されましたので、種々調査もし研究もしたのでありました。大部分の需用者に對しては晝夜送電の從量供給を爲し、一部の需用者に對しては夜間送電の定額供給を爲すものとしても、其の境を如何なる所に置くべきか。之に副ふやうに配電設備に手を入れるとして、成るべく安くて濟む方法は無からうか。この變改が事業收支の上に如何にひゞくであらうか、需用者に著しい無理を强ひるやうなことはあるまいか、この

變改を實施するとして、いつ如何なる機會に行ふべきであるか等の事柄について講究して居つたのでありましたが、未だしつかりした成案を得ない中に大正十二年九月一日の大震火災に遭遇したのであります。この災厄に遭つたことは不幸であつたには相違ありませんが、そこは萬事塞翁が馬で一方から見ると幸なことでもありました。

この大震火災は豫期よりも早く東京の電燈事業者に豫ねて問題となつて居た大變改を行ふのに、此の上もなく好い機會を與へてくれたのでありました。東京市としても亦かねて供給區域や料金について協定をして居ります東京電燈會社としてもこの機會を見逃さなかつたのであります。私たちは拙速的に案を作つて會社と協議し、其の同意を得て各自の供給規程に相當の改正を加へ、其を大正十三年四月一日に實施したのであります。この改正で電燈電力を通じ晝夜送電の從量供給を原則とし、ただ屋外電燈と一戸二燈以下の屋内電燈とに限つて夜間送電の定額供給を認めることにいたしました。

尙從量電燈の需用者が電燈以外の小型電氣機械器具を使つても、其の總容量一キロワット以内であれば、これに別箇の責任を持たせず、其に使つた電氣は電燈に使つたものとして取扱ふやうにいたしました。斯様に變改を加へた結果、需用者に對して大なる無理を強ひることもなく、電氣利用の進歩に副ふことが出來るやうになり、又事業收支の上にも好い影響が現はれる様になりましたが、しかし其の間には種々小刀細工もやつて居るのであります。

東京市は舊市部と舊郡部の中の十二箇所とに亘つて供給區域を持つて居ります。其の中の郡部の區域では配電線路が架空線でありまする爲に、高壓線以下を二重にすることが容易に出來たのでありますが、舊市部の區域では配電線路が地中線であります爲に、其の二重施設に少からぬ費用のかゝる關係上さうすることが出來ず、取り敢へず在來のままの設備で一率に晝夜送電を始め、街路電燈のやうなもののまとまつてある所にだけ低壓線を別に引き、之を人手若くはタイムスヰツチの類で朝夕開閉して居ります。從つて所によつては外燈が晝間もつけ放しになつて居るやうなこともあります。將來は段々に整理して行く方針でありますが、現在では未だ斯ういふおはづかしい狀態になつて居るのであります。其は兎も角私にはこのやうな經驗があります。今電燈事業者によつては同じやうな惱みを持つて居られる向もあるらしくお見受けして、深い同情を禁じ得ないのであります。其と同時に其等の電燈事業者が電氣利用進歩の趨勢を洞察して、之に善處されますやう切に祈つて居ります。

最後にもう一事申し述べて見やうと思ひます。

近來電燈事業者の間にサービスの改善といふことが叫ばれて居る様に見受けます。電氣協會でも電氣事業改善委員會といふ委員會を設けて、之に關する諸般の調査を行つて居る様であります。これは誠に結構なことであると考へます。しかし電燈事業者の實際のサービスを見ますと、失禮な申し分ではありますが、其の多くは景品附大賣出し式のサービス、敵本主義のサービスであつて、事業本來の使命に稽へてのサービスとの間には、未だ可なりの距りのあるものである様に見受けられます。電燈事業も商賣であります以上、賣上げを多くせむが爲のサービス、配當をよくせむが爲のサービスもあつて差支のないことは申す迄もないことでありますが、事業本來の

使命に稽へてのサービスも同時に尊重されなければならぬと信じます。事業本來の使命に稽へてのサービスは、眞に需用者の滿足を買はむが爲のサービスであつて、需給兩者共存共榮の大義からすればこれが眞のサービスであると信じます。我が國の電燈事業者のすべてが眞にこの理解を持つて居るでありませうか、私には多少の疑なきを得ないのであります。

電燈事業者が需用者の立場に立つて虛心坦懷に自分たちの仕事の仕振りを眺めて見さへすれば、電氣協會の調査を待たなくとも、改善すべき點を幾つでも見出せるのではありますまいか。例へば營業案内の一つを書くにしても、配るにしても改善の餘地があるのではありますまいか。お手許へ配りましたのは東京市電氣局の電燈電力の營業案内であります。これは昨年私が書いて上げたのを土臺として作られたものであります。私はもつと金をかけても何とかし度い樣に考へて居たのでありますが、私が責任者でもありませんので私の思ふ通りにもならず、そんな所に落ちついたのであります。其でも從前の營業案内が供給條例の抜書見たいなものであつたのに較べると、多少なりとも分り易く親切に出來て居ると思ひます。營業案内一つを書くにしても配るにしても一層親切にしやうとすれば、するだけの餘地が殘されて居るのではありますまいか。營業案内一つにしてもさうであります。況や萬般の業務の上に於いておやであります。

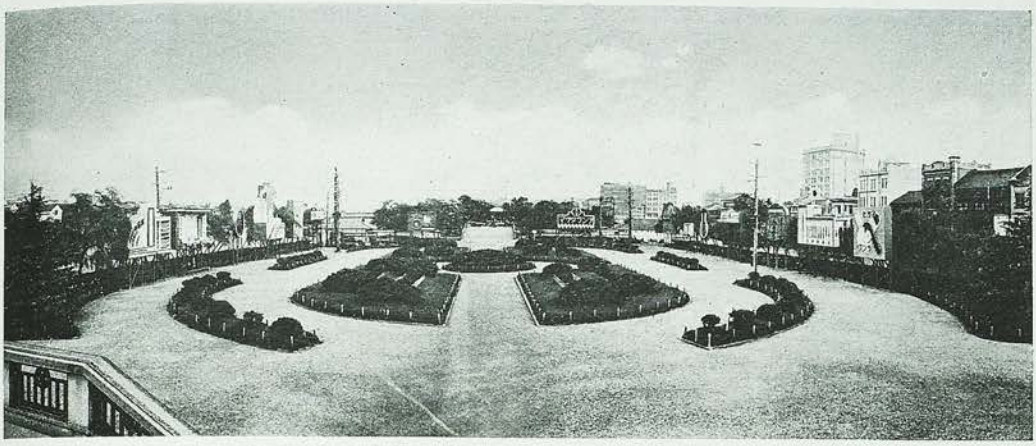
我が國の電燈事業の多くは其の發達の過去が餘りにも順調でありました爲に、大した苦勞をせずに育つて來た觀があります。今でこそ供給の飽和や世界的の不景氣の爲に少からず苦勞させられて居る樣でありますが、まだ〳〵苦勞の仕方が足りないと思ひます。所謂電燈爭議なるものが各地に起つたことがあります。これには現代の世相がさうさせたと考へられる點もありますが、電燈事業者が過去に於て獨占の盾のかげに餘りにも隱れ過ぎて來たことに對する需用者側の反感の動いて居たことを見逃すことは出來ないと信じます。これらの事件に鑑みて電燈事業者は多少反省した樣でありますが、未だ十分ではない樣に見受けられます。私も永年電燈事業に携はつて居りながら夢中で日をすごし、この邊の事理が多少分りかけて來た頃は、病の爲に職を引かなければならないやうになつて居たのでありました。今之を省みてはづかしく思ふと同時に單なる需用者の立場に立つて居ますと、電燈事業者に一層努力して欲しいと望み度いことが益々目につくやうな氣持ちがいたします。私はこのサービスの改善についても各電燈事業者の中堅として現職にあられる皆樣の深甚なる御注意を喚起いたし度いと思ふのであります。

斯樣に無遠慮に勝手な熱を吹き立て、私は話を終ります。

改正電氣事業法施行規則第五十九條と告示とを通じて、眞空電球とあるのは、直線纖條型のものを指して居るものであり、從つて螺旋纖條型のものは除外されてゐる樣にも見受けられる。

然らば螺旋纖條型の眞空電球は、電燈供給に使用することができないかといふに、必ずしもさうではない。この種の電球に對して、公稱光度や標準光度をあてはめることは意味をなさないものであると考へられるが、ワット數や標準光束をあてはめるには差支がないと思ふ。

從つて螺旋纖條型眞空電球でも、そのワット數と光束とが規定に適合するものであれば、使用して一向差支ないと思ふ。



大阪中之島公園に於ける電氣サイン展覽會々場

大阪の電氣サイン展覽會

大阪市電氣局
電氣普及館　内田幸夫

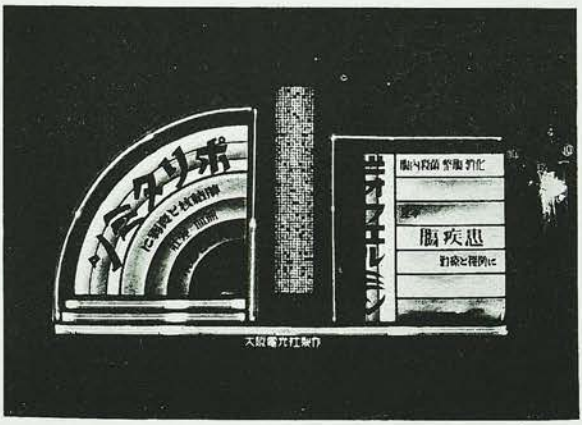
「社團法人照明學會、照明智識普及委員會及び大阪市電氣局の主催で、八月一日より九月三十日に至る二ケ月に亘り、大阪中之島公園に於て電氣サイン展覽會が開催された。電燈點滅或はネオンサイン等、電氣照明による廣告看板乃至廣告塔が近來非常に發達して、夜の街頭に有效にその廣告目的を達する以外、之等廣告看板及び廣告塔は夜の都市美を飾るものとして無くてはならぬ存在である。

今日夜の大阪の市から電氣看板や廣告塔を全部取除いたならば、道頓堀も心齋橋もどんなに慘なものになるだらう。

夜の街に輝く廣告看板や廣告塔は、正に産業大阪市の繁榮を物語るものである。ニューヨーク、ロンドン、パリ等、歐米の大都市の夜はケンランたる廣告の光に包まれて居る。然るに我が國に於ては廣告物取締等の關係から、電氣照明による廣告看板等も、兎角進歩發達を阻害されつゝある折柄、此種の企ては殊に有意義と言ふべきである。

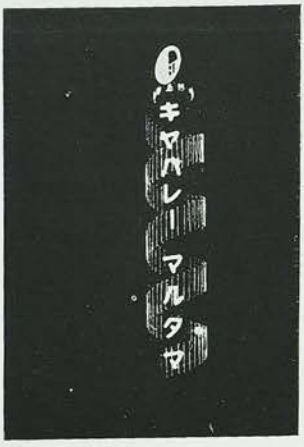
尙既に東京、京都、神戸等の各都市に於ては、之と同じ計畫の電氣サイン展覽會が開催されて、夫々大成功を收めて居るのであるから、產業都市大阪としても是非盛大に開催さるべきである。」（一雜誌記事より）

「電氣サイン展覽會は總ゆる障害を突破し、



ポリタミンの電氣サイン

大阪歌舞伎座



マタルマ・レーバヤキ

既報の如く八月一日より中之島公園に擧行され、出品數三十點が總て點燈し、其の光彩陸離たる近代色は夏の夜に相應しく明滅するに至つた。近代夜間廣告の粹を誇るものとして、特に優秀なるサインに對しては賞を與へられる丈に、夫々苦心の跡を窺ふに足る三十三年型電氣サインのみで、出品物の審査は青柳榮司博士、武田五一博士、石川芳次郎氏、木津谷電燈部長、古宇田神戸高工校長、本野精吾氏、藤井厚二博士、村本福松氏、大島弘義氏、府保安課長柘植文夫氏等の斯界の權威によつて行はれる。」（一新聞記事より）

□

現に點燈して居る電氣サイン展覽會の出品總數は次の二十七個である。卽ち

ボリタミン、御園白粉、富久娘、歌舞伎座、浪花電鐵協會、ナシヨナル乾電池、キヤバレー・マルタマ、エビスオヤコ電球、アサヒランプ、清酒金露、ヒガシマル醬油、日本電球、日本電飾、南一溫泉料理、マツダランプ、クラブ白粉、クロードネオン、カサイ電氣、大阪市電氣局工事組合、日本石油、カバシクリーム、シヤープ・ダイン、ヘルメス・ラヂオ、東京ネオン、小倉石油、エレバム眞空管、シンクロン電氣時計等

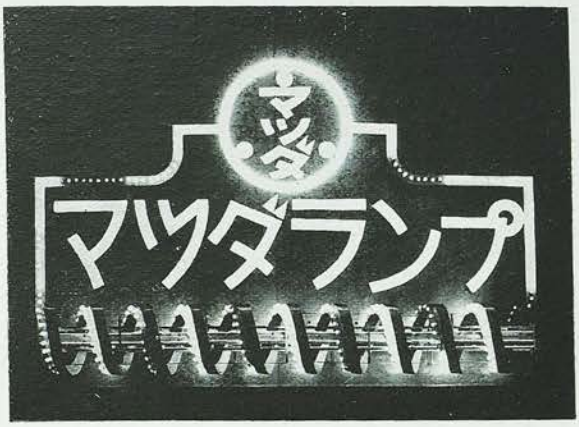
以上の出品數及び出品者の種類を見ても、他の都市で開かれた電氣サイン展覽會を凌駕して居る樣に思はれる。

審査の結果、優秀とされた電氣サインは寫眞の通りである。

カバシクリームの意匠、キヤバレーマル玉

エビス電球會社のサイン

南一溫泉料理店のサイン



東京電氣會社のサイン

の着想はネオンサインとして新味があり、ネオン管の性質をよく生かして利用して居る。クロード・ネオンのサインは點滅の仕方に新奇さがあり、配色の妙は出品物中第一位であらう。ビオフエルミンは間接サインを巧妙に點滅させて居る點に面白味があり、豆球トーキング・サインを併用せる事は、店頭サインとして參考すべき點であらう。

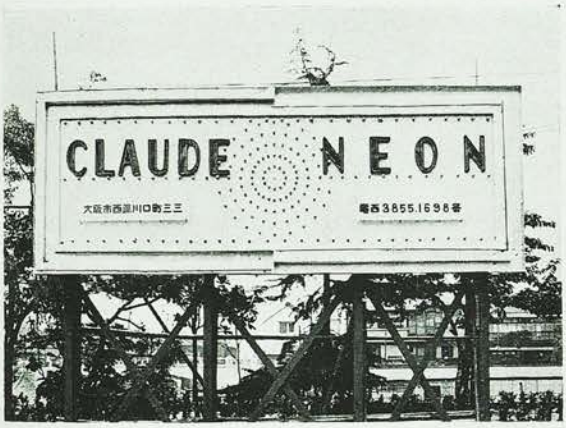
歌舞伎座のキング・コングのサインが、雲のエフエクトマシンと一部の光をスムースに點滅する爲に、水抵抗を使つて居る點は、特殊の看板に應用されていゝであらう。（これ等の批評は電氣屋である筆者の電氣的立場に於けるものであつて、審査員の御意見でない事を特に御斷りして置く。）

□

出品サインを電氣サインの照明方式から分類すると、

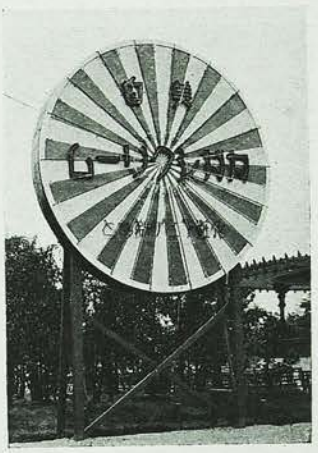
サイン電球或はネオン管等の光源體自身の構成になる露出式サイン　二〇

露出式と光源を陰蔽して、その放射光線の被照體による間接式サインとを組合はせたもの



クロードネオンのサイン

露出式と半透明グラスにて光源を包み、その透過光による包圍式サインとを組合はせたもの　三



カガシクリーム

であつて、露出式サインが七割五分を占めて居る。大型電氣サインとしての構造上の自由さを持ち、遠望の有效な點等から考へて、露出式サインが將來に於て、電氣サインとして優勢な地位を占めるものと思はれ、殊にネオン管の利用の發展は此の方面の發達を促す事と思はれるが、晝間に於ける美的效果、廣告效果に缺ける所があり、この種のサインとして已むを得ない不利な點ではあらうが、もつと何とか考慮の餘地のないものであらうか。

出品サイン中にも夜間には相當優れた效果を發揮しながら、晝間の成績がゼロに近いものが少くなかつた。

使用光源の種類から分類すると、

電球のみを使用せるもの　三

ネオン管のみを使用せるもの　八

電球とネオン管を併用せるもの　一六

であつて、電球とネオン管とを併用したものが六割に達して居る。

最近ネオンサインが意匠に於ても着想に於ても、亦ネオンの持つ點滅上の缺點による變化に乏しい點から行詰りの觀があり、一般にネオンのみによる電氣サインが飽かれて來た傾向にあるが、本電氣サイン展覽會に於て、ネオン管と電球（特にサイン電球）との組合せによつて、電氣サイン自體の行詰りを何とかしやうと言ふ傾向の見える事は大いに意義のある事である。かくして今後の電氣サインはネオン管とサイン電球との組合せによつて意匠と着想とのより自由さを求めつゝ、各種の光の空間的なコンビネーションと時間的なグラヂユエーションとを巧に按配して、より美的な考慮が拂はるべきではなからうか。

「廣告のための電氣サイン」から「都市美のための電氣サイン」へ、快き色彩の調和と明滅轉換のテンポの統整によつて、その使命を果たすことが、電氣サインの進むべき方向であらう。

シカゴ博の屋外照明

本年六月一日に開會した百年進歩の跡を物語るシカゴ博の屋外照明を見ると、その屋外照明に用ひられた光源の種類は孤光燈、白熱電球、放電管等、現在利用しうる凡てを用ひ、此の照明に要する電力は二、一〇〇キロワットと稱せられて居る。其内で白熱電球は一〇乃至三、〇〇〇ワットのもの取混ぜ一五、〇〇〇箇が用ひられて居る。

建物の照明には一、〇〇〇ワットの投光器が一、〇〇〇臺と二〇〇ワットの投光器が二、二〇〇臺が用ひられて居り、猶二四臺の特殊設計の探照燈が採用されて、その總光量一、九二〇、〇〇〇、〇〇〇燭を出して居ると云ふ。

此の博覽會の建物は殆んど凡て外廓照明にネオン放電管が用ひられて居る。

一九三〇年に此の博覽會の照明に關する打合會が行はれた際には、放電管を建築照明に用ひやうなどとは研究者も夢想しなかつたのである。

然るに本年に至り、シカゴのフエデラル電氣會社の研究所で研究した結果、建物の外廓照明に二三、〇〇〇呎位の放電管が用ひられるであらうと想像して居つたが、いよいよ開會された際には七五、〇〇〇—一〇〇、〇〇〇呎の放電管が用ひられて居つた。

最も美しくて印象的なのは電氣館の西側の裝飾照明に瀧の氣持ちを表さんとした點であらう。そのために最初は實際に水を使ふ案を立てたが、一秒間に九〇、〇〇〇ガロンも要し、その重量で建物がもつまいと云ふことになつて取やめとなつた。

瀧の氣持を表すためには神秘的な綠と青の放電管を外廓に馬蹄狀に配して居る。

綠と青の放電管の七つのバンクが壁に沿うて間隙を置いて垂直に五五呎立上つて居る。館壁の底にあるプールから上昇するスプレイと蒸氣とが此の光を一層効果的にして居る。此の壯觀な外廓照明に對しては總計七、五〇〇呎の放電管が用ひられて居る。

電氣館に隣合つての社會科學館と通信館では一、六五五呎の銀色と青色の放電管が用ひられて居る。農業館では二、〇〇〇呎の放電管を用ひ、そのうち六〇〇呎は屋根の頂上に沿ふて取附けてある。

その外には、酪農館に六〇〇呎、一般館に一、二〇〇呎、クライスラーの陳列所に二、〇〇〇呎、十二丁目、十八丁目、二十三丁目、三十五丁目、三十九丁目の入口に三、五〇〇呎を用ひて居る。

本誌の表紙に示した寫眞は科學館の照明を示したものであるが、此の科學館は博覽會の建物のうちで第一に照明されたもので、四、七六〇呎の放電管を外廓照明に用ひて居る。そのうちで二、七〇〇呎の放電管は一七六呎の塔の四面の照明を行つて居る。塔の南と西側は赤色で、東と北側は青色を用ひて居る。

一方亭の照明を見る

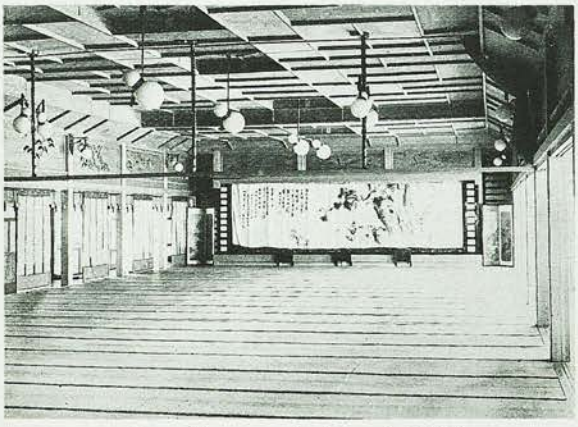
九州水力電氣會社
營業第二課
日時本一虎

黒田侯五十二萬石の舊城下。其の殷盛をうたわれた九州の首都大福岡の名所見物は、何んと云つても先づ東公園からである。

地は「千代の松原」で、蒼々たる松林の間に龜山上皇、日蓮上人の銅像及び元寇記念館等が散見される。それより北、數町俗に箱崎八幡と稱する官幣大社「箱崎神宮」がある。樓門の扁額「敵國降伏」の文字は醍醐帝の宸筆として名高く、社頭の前面には洋々たる博多灣が廣がり、白砂は陽に輝き、打ち續く一里の長汀は「多々良の濱」であつて、多々良濱邊の夷、そはなに蒙古勢と、うたはれた六百年前の元寇の史跡である。

筆者は一日此の公園の西の入口にある料亭「一方亭」の照明を見學した。同亭は東邦電力會社福岡支店の熱心なる照明改善運動にうながされ、東京電氣會社福岡出張所S技師に其設計を依頼したが、同氏の考案は常に人の意表に出で、博多柳町遊廓「一樂の照明」と共に、いたく感ぜしむるところがあつたので、其大略を紹介し、併せて愚感のまゝを書き連ねて見たいと思ふ。

第一圖は一方亭の大廣間の全景であつて、



第一圖　一方亭の大廣間

其廣さ百五拾疊、時に依り中仕切で二室に分けられるやうになつて居る。格子天井の中心に添ふて一列の大型瓢箪六箇、廣間の西側に「ブラケット」式小型瓢箪一〇箇が配列されて居る。

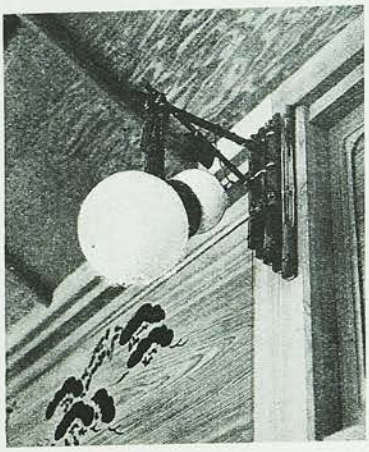
天井の「モザイック」と燈器の配列は良く調和して、隈なく均一の明るさを得て居る。中仕切鴨居の上部は特に「欄間」なしのつゝぬけになつて居つて、第二圖に示すやうな燈

第二圖　中仕切鴨居の支柱

器を以つて支柱として居り、大廣間として使用する際に目ざわりなく、本來の面目を保つに相應しくしたのは、あるじの良い思ひ付であつて、設計者も此燈器案出には相當の苦心を拂はれたものの如く、竹枝にブラリと垂つ

た瓢箪の大さと云ひ格好と云ひ、室の氣分を良く出して居る。

畫伯秀山の筆になる松の緞帳を開けば、奥行一間半の「ステージ」がある。色取り〳〵の舞臺照明が手際良く施されて居るが、只おしいことにはディムマー裝置の設備がないために、照明効果が充分でないことである。

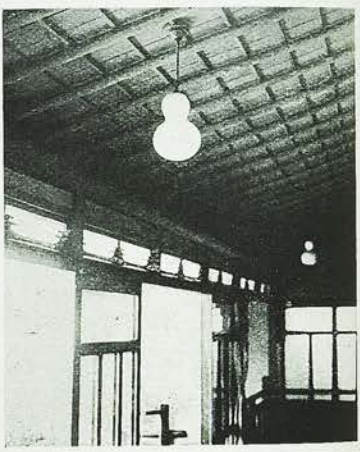


第三圖 ブラケット式小型瓢箪

第三圖は大廣間欄間に取付けられたる「ブラケット」式の小型瓢箪を示して居る。

燈器の金具は全部眞鍮鑄物であつて、瓢箪の垂下けの紐まで鑄物で出來て居るとは、流石にこつたものとうなずける。仕上は全部銀古味であつて之又申分がない。

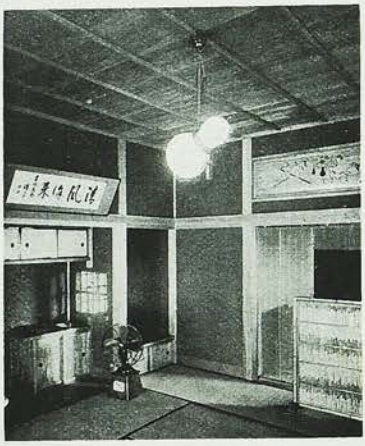
出來得ることなら欄間の「チヨーコク」を全部瓢箪の「影法師」として第三圖ブラケットを其實物に見せて連絡をつけ「パノラマ」式にして、瓢箪之間と命名した方が良くは無かつたかと思はれる。



第四圖 二階廊下の燈器

第四圖は二階の廊下に取付けたもので、屋上庭園に植付けた「千なり瓢箪」の棚と良い對照をなして面白く風情がある。

第五圖は、靜かな八疊の間に取付られた中型の瓢箪であるが、一箪の瓢落付あり、氣分を靜めるに最もふさわしく、客も亦好むと主人は語つて居つた。燈器も極めて簡粗で且つ清楚な趣のあるのは、苦心の跡も思ひ半ばに過ぎるものがある。



第五圖 八疊の間

全體として考へる時は、どの室も瓢箪に因んで色々考案したものをつけた事は同亭の唯一の特徴ではあるが、これがために又變化のない事は大なる缺點の一つとして見逃す事が出來ぬと思はれる。

客足を長く引き止め、愉快に時を過ごさす爲めには、「變化に富む」と云ふ事が最も大切な事と思はれる。譬へば瓢箪の間は徹頭徹尾瓢箪づくしで行くべきだが、他の間は別趣味の技巧が望しいのではなからうかとも考へられる。設計者の眞意も解せず暴言をはいたことを幾重にも多謝して筆を擱く。

因に同亭の燈器に用ひられて居る電球は左記の通りである。

大型瓢箪	一五〇ワット 六〇ワット	各一箇
中型同	一〇〇ワット 四〇ワット	同
ブラケット	一〇〇ワット 二〇ワット	同
廊下用	二〇ワット	一箇

シカゴ大博覽會參觀記

東京電氣株式會社
研究所技師　松井邦寧

本年七月、米國出張の歸途、シカゴ市へ立寄つて、圖らずも同市の大博覽會を見學するの好運に恵まれました。何しろ百年進歩の跡を見せると號した大仕掛けな仕組と、どえらい掛聲で名乘りを擧げた博覽會だけに、開會前からなかなか評判高く、人氣もそんなに惡くない樣でしたので、大いに期待して見物を致した次第であります。

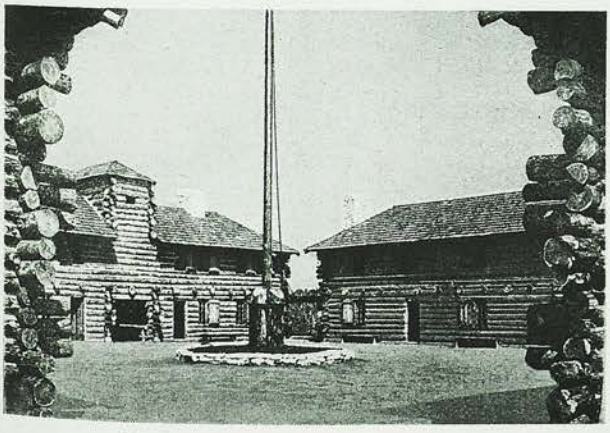
殊にこの博覽會の趣旨がシカゴ市百年の進歩を祝福すると同時に、今世紀の科學の進歩を禮讃しようと云ふのですから、私共多少なりとも科學の畠に足を蹈込んで居る者にとつて、相當の魅力を感ぜしめるのも亦無理からぬことなのであります。

所が聞いて極樂、見て地獄とまでは申しませんが、期待が大きかつただけ、實際を見てそれが思つた程でなかつたのには少からずがつかり致しました。加ふるに氣候の方も熱波（ヒートウエーブ）とやら云ふ香しからぬものが襲つて參りまして、毎日毎日汗だくでフーフー云ひながらの見物には、すつかり弱つてしまひました。しかし何はともあれ、その廣大な會場と超モダーンな建築樣式とゴテつかないアツサリした陳列法には、チヨト心牽れる所もありましたので、記憶を辿り思ひ出したまゝに、この見物記を書きつらねて見た次第であります。

一、博覽會のアウトライン

シカゴ市はミシガン湖の西南の岸に南北へ長く湖岸へ沿うて發達して居ります都會で、今や米國第二の大都會、人口實に三千四百萬世界では第四番目の都市と云ふ事になつて居ります。物資の一大集散地、交通の中心地となつて居ります上に、又米國醫學の中心ともなつて居ります。アメリカ中部地方の文化の中心地であることは申すまでもありません。鐵道で見るならば三十三の幹線が集つて居りまして、五十八秒に一回の割合で列車が到着することになつて居ります。

この大シカゴ市も今より百年の昔は人口僅に四千の一小村落に過ぎなかつたのであります。この博覽會の會場に作られてありますフオート・デアボーンと云ふ丸太小屋のやうな實物大の模型の建物が、當時のシカゴ村の中



第一圖　フオート・デアボーン

心となつて居つたのでありまして、これはインデアンの襲撃に備へて作られた昔時の兵營なのであります。

この一小村落が百年の後に只今の大シカゴ市となつたと思つて見ますと、實に驚くべき躍進、異常な進歩と言はねばならぬわけであります。村政が敷かれてより百年（嚴密に申しますと百四年）豈祝福せざるべけんやと云ふのが、今次大博覽會開催の一つの目的なのであります。異常な躍進、驚くべき進歩斯の如きものが、他に果して何物がありましたでせうか。チヨット目につかないのであります。只一つ今世紀の華とも云ふべき科學の進歩、これのみは正にシカゴ市の發展にも比すべき今世紀の一大驚異であらねばなりません。否これに比すればシカゴ市のこの進歩も寧ろ後へに膛若たらざるを得ないのであります。加ふるにシカゴ市のこの發展も科學の進歩てふ、一大バックを持たずして何をもなし得なかつたと云ふことは云ふまでもありません。ここに於て彼等博覽會決行の當路者が、シカゴ市の發展と云ふ事に關聯せしめて、時を同うせし今世紀の科學の進歩と云ふ事を、今次博覽會の他の一つの目的に選んだ事は、正に當を得たものと云ふべきでありませう。

『世紀の進歩』これがこの大博覽會の御題目なのであります。

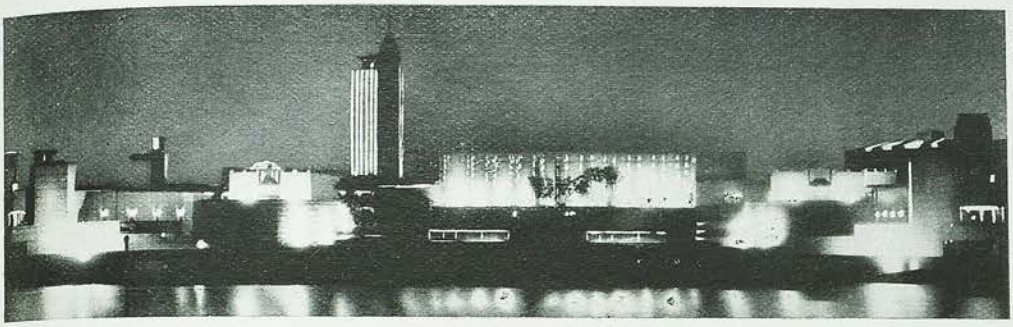
この博覽會の計畫は一九二三年に、既にその基礎が立てられたものでありまして、時の市長の努力によつて設立委員會が作られ、熱心にその遂行の段取りを研究し來つたのであります。爾來同市の有力者を中心に可成りの迂餘曲折を經まして、一九二七年の十二月、兎に角開催可能の見通しがつきまして、例のドーズ案で有名なアール・シー・ドーズ氏を會長に推し、有力なシカゴ市民の名を列ねて陣容を整へたのであります。

越えて一九二八年、遂に大綱が定まり、本年卽ち一九三三年決行の運びに立到つたのであります。勿論シカゴ市が中心となつてゞありますが、名前はイリノイ州の主催となつたのであります。最初は博覽會の名前を「シカゴ第二次百年紀念博覽會」と致したのでありますが、一九二九年に到り現在の「世紀の進歩」と改稱されたのであります。何故第二と一時申したかと云ひますと、當市に於ては一八九三年只今から四十年前、コロンブスのアメリカ發見の四百年を祝つて一大博覽會が催され、この博覽會を「コロンビアン國際大博覽會」と稱しました。この時シカゴ市より五百萬ドル、政府から二百五十萬ドルの補助を受けて行はれましたが、今次の博覽會はこうした金はビタ一文も受けては居りません。從來この種博覽會は大てい政府とか州とか市とかの出資を基礎と致して居ります。例へば一九一五年のパナマ運河開通を祝しての桑港の大博覽會では、市から五百萬ドル、加州政廳から四百九十萬ドル、各郡から五十五萬六千ドルを受けて居ります。

處で今回の資金關係はと申しますと、初期時代は廣く一般より出資を求め、それに應じたものを會員とすると云つた方法を取り、更に愈々となつては、會長ドーズ氏（當時英國大使）の努力により一千二百萬ドルの金紙幣の發行を許され、これが資金の基礎をなしたのであります。この金紙幣は入場料の四十パーセントを擔保として發行されたもので、あの未曾有の財界不況の時期に於てもよくその價値を落すことなく、先づ成功と云つて然るべきものと思ひます。斯くしてこの大博覽會の樂屋裏の準備は全く整つたのであります。

二、會場の光景

一九三三年五月廿七日、愈々大博覽會の幕は切り落されました。大統領代理として遞相

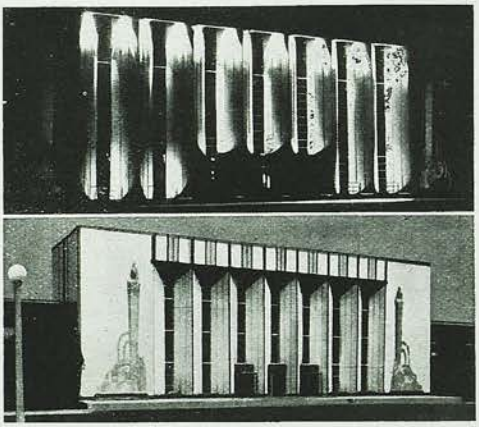


第二圖　科學館の照明は電球とネオンによる

の臨場の下に開會の式典は擧行されたのであります。

この度の博覽會のシムボルそれはカツトにありますやうな星の世界の畫であります。異常な今世紀の進歩、驚くべき躍進これを表徴するには光の速度、あの一秒間に十八萬六千マイルも走る光の速さ、これこそ正にふさはしいものと言はねばなりません。四十年前の博覽會の時に輝いたあのアークチユラス星、その弱い弱い光をとらへて、これを光電管に入れ、これを電氣的のエネルギーに變へ、更にそれを機械的の力とし、それによつて動力のスイツチを入れ、夜間の會場としてのあらゆる機構を始動せしめたのであります。これを四十年前に於て、當時の大統領クリーブランドが、自らスイツチを入れたのに比較すれば、半世紀の科學の進歩を窺ひ知ることが出來ます。

萬事がこうした行き方でありまして、會場のあらゆる設計が、從來と異り思ひ切つた近代化、否、むしろ未來への想像と言つた方がよろしいかも知れません。すべてが新奇を競つて居るのであります。特異な建築樣式、强烈な色彩、大膽な色の配合、それは强烈な夏の日にふさわしい階調を示して居ります。案内記によりますと、會場一般の建築設計は、有名なステージ・デザイナー、ジヨセフ・オーバン氏によつてなされたもので、十一種の色とその濃淡との配合からなつて居ります。色を一々申述べますならば、綠、青綠、青、黃、赤、オレンヂ、灰色、白、黑、銀色、金色の十一種で、このうち二十パーセントは白、同じく二十パーセントの青、二十パーセントのオレンヂ、十五パーセントの黑、あとの廿五パーセントが殘りの色と云つた割合に分配されて居ります。



第三圖　博覽會本館の照明

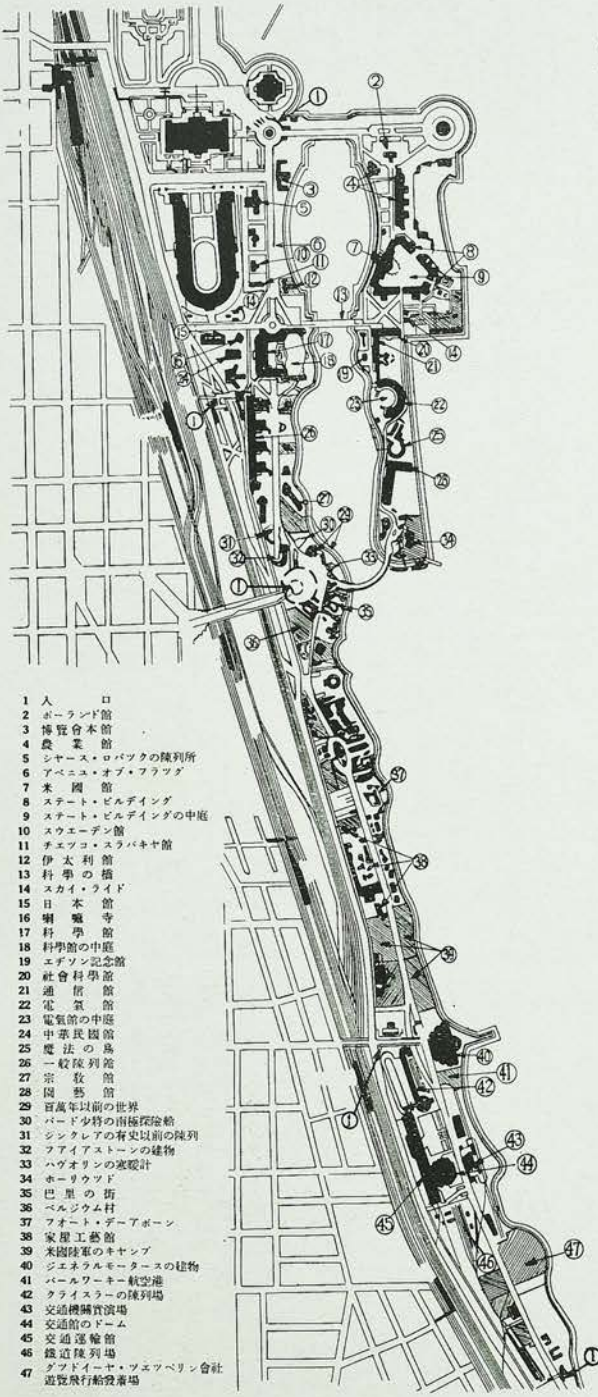
今次博覽會の建築物が從來のそれに比して著しく異つて居る點を概括すれば、次の二項目である樣に思はれます。卽ち一つは思ひ切つて一時的のものとした點と、他の一つは將來の建築に對する一大實驗場たらしめんとした點であります。照明は主としてウエステイングハウス及びジー・イー會社のその方面のエキスパートが擔當したのでありますが、彼等の言を借りるならば、「本年の博覽會は過ぎにし百年間の進歩を見ることのみが目的で

なく、やがて來ん新時代への躍進を目指して居る」と申して居ります。窓なしの建物の多いことも一つの目立つた事柄となつて居ります。從つて屋内照明は到れり盡せりと申しませうか。屋外に使用して居る照明用の白熱電燈の數は約一萬五千、室内にあるものに到つては無數とも云ふべきでありませう。探照燈も又夥しい數に上り、主要な廿四基の發する光力は實に十九億二百萬燭光と言はれて居ります。更に晝夜を通じ開期の百五十五日間の電力の總使用量は恐らく一億四千八百萬キロワットに及ぶものと算定されて居ります。

三、會場の見學（その一）

第四圖は今回の大博覽會の地圖でありますが、ミシガン湖に沿ひ、南北に長く延びた會場は、その西の境をイリノイ・セントラル鐵道の線路に接して居ります。十二丁目より南へ三十九丁目まで、實に三哩半に及んで居ります。東西は北端に於てやゝ廣く、二十二丁目までは湖岸に竝行して居る島と二列になつて居り、その間にラグーン（日本語の潟に相當する）を形作つて居ります。

市内より陸續とつめかけますバス、タクシー、自家用車の間にはさまれて、ミシガン・アベニユのホテル・スチィヴンスあたりからなら、徒歩でも七八分かゝれば北入口に行かれます。こゝは會場の正門でありまして、入場者は大人五十仙、小供廿五仙の入場料を支拂はなければなりません。切符はこゝに限らず市内の要所々々のバスの停留所でも賣つて居ります。正門での困難を避けるために、バスの乘客に對して切符を薦めて居ります。しか



第四圖　シカゴ大博覽會全圖

し不景氣の影響とでも言ひませうか、私の滯在中一度も正門の切符賣場で困難に出遇つたことがありません。先づ神宮球場なら二流、三流のチームの試合當日の切符賣場の前を御想像下されば結構であります。

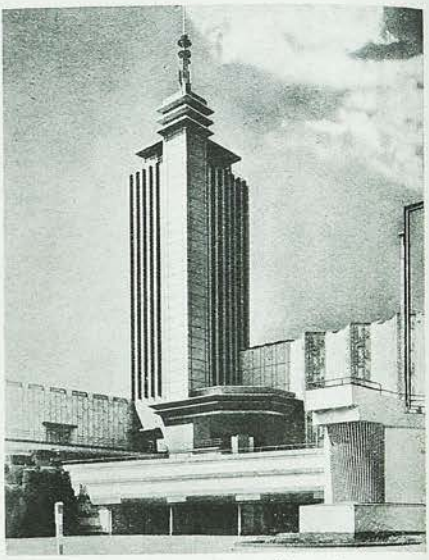
門を入りますと圓形の廣場になつて居つて、中央に噴水塔を設け、周圍は賣店になつて居ります。この廣場から眞南へ一本の道がついて居り、眞東にも亦一本ラグーンの北端を形成つて道が作られてあります。先づ順路

第五圖　グレイフアウンドの場内バス

として、眞南へ進んで參りませうか。右に本博覽會の一つの新しい試みと言はれ、且つかなり成功したらしく思はれる會場バスの發着場があります。このバスは第五圖に見る様な構造を持ち、米國有數のバスラインのグレイファウンドの經營になつて居ります。こゝを基點として會場の西側に設けられたバス專用路を南下して、會場の南端まで達して居ります。賃金は均一制で一回十仙、停車場は五六丁目置きに作られて居ります。南北三哩半の會場に取つては、なかなか氣のきいた考へであると言はねばなりません。

正門内の廣場から眞南へ向ふ大道路を、アベニュ・オブ・フラッグ（旗の路）と言つて居ります（第六圖）。左に博覽會の事務所を眺め、右に有名なシカゴ市の百貨店シャースロバックの陳列所を見て進みます。左手のラグーンのなかには一時間幾何かの賃金で乘れる遊覽船が動いて居ります。又例の板子に發動機を着けた様な機外艇が猛烈なスピードで走り廻つて居ります。右にスウエーデン館、チエッコ館を見て左にイタリー館と云ふ邊に參りますと「旗の路」も終りとなります。これらの外國館は出品として全く見るべきものなく、寧ろ賣店と云つた方がよくはないかと思はれます。何れも建物の外觀は思ひ切つた近代味を持たしめ、特にイタリー館の如きは特異な建築樣式を採用して、例のバルボ航空相の率ゐる廿四機の空軍の母國イタリーよりの飛來と歩調を合せる意味で、正面に飛行機の翼を配した邊り、奇を好む米國大衆への要領のよい善意表示振りは、なかなかに巧みなものがあります。館内は名所風景の寫眞陳列と何處で作られたものかわからない様な裝身具の卽

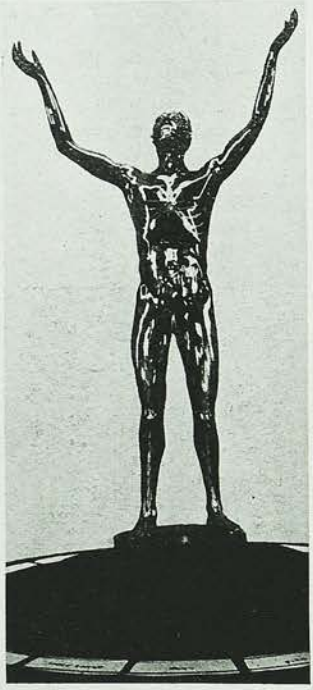
第六圖　アベニュ・オブ・フラッグ



第七圖　科學館

賣店より外に何ものもないイタリー館を出て、更に南へ進めば正面に一異彩をはなつた大建築が、その幾何學的な端麗さを見せて控えて居ります(第七圖)。これが名にし負ふ科學館であります。今世紀の科學の進歩は寔めてこのなかにあり、とでも言ひたけに見えるのでありますが、しかし内容は決してそんなに立派なものではありません。

しかし全體として會場そのものゝ手のかけ方に比し、出品物の貧弱なこの博覽會に於ては流石に出色のものと言つて宜しいかと存じます。U字型の建物の横腹の所が北入口で此處を入れば數學部、物理學部、化學部、生物學部、地質學部、醫學部等に分れて居りますこれらの細部について記述致しますと、餘りに專門的となります故こゝでは省略させて頂きます。只一つ醫學部に於て獨逸よりの出品物で素晴らしいものがあります。ドレスデンで作られたもので時價一萬ドルと言はれ、世界に二つしかないもの、一つださうでありますが「透明體で出來た人體模型」がこれであります(第八圖)。この科學館のU字型のなかは「榮譽の庭」と呼れ(第九圖)まして、こゝでは種々の表彰式とか祝賀式とか云つたものが擧行される所であります。この科學館を見終へて再び北入口に出で、東に向へば直ちにラグーンに掛けられた橋を渡る事になります。この橋を「科學の橋」と呼んで居ります。ラグーンはこの橋で南北二つの部分に分たれて居ります。基礎科學を科學館で見物した人は橋を渡つて科學の目覺しい應用を見せて居る通信館、電氣館、農業館及び國内諸州の現勢を表はすのを目的とした米國館とでも云ふべき建物を見學する順序となつて居ります。このうち橋より北にある米國館と農業館は先づ後まわしとしまして、私共は何はともあれ、通信館と電氣館とを見ることに致しませう。



第八圖　透明體人體模型

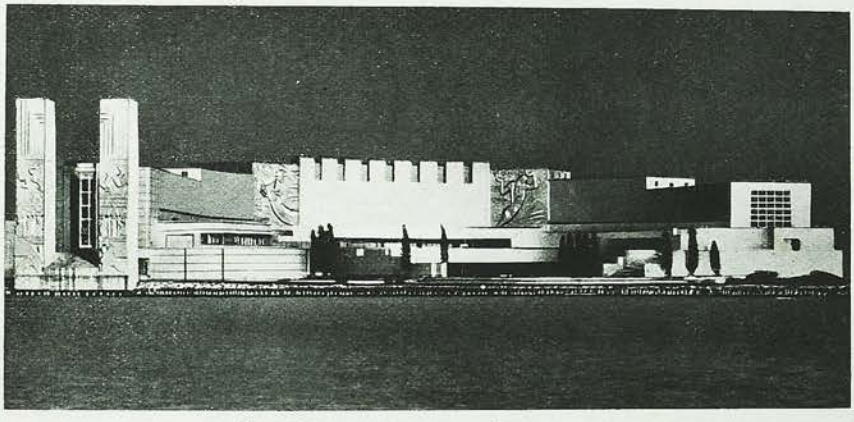
先づ通信館に入りますと、ウェスターン・ユニオン、ポスタール・テレグラフの二大電信會社のテレタイプの實演が目につきます。オペレーターのキイを叩く音は騒然として場を壓し、看客の望みに應じ色々の文句を打つて呉れます。一本の線を四臺の機械で共用し、同時送信の可能なる事を巧みな說明で示して居ります。米國内に止らず全世界に及ぶ通信網への米國資本の進出振りは、掲られた大地圖によつて窺ひ知る事が出來ます。更に進めば祕密通信法の實演に人氣を呼び、又米國内主要都市への無料電話のサービスはお上りさん連の大歡迎を受けて居ります。

軒續きに隣りの電氣館（第十圖）へ進めば、こゝはゼネラル・エレクトリックとウェスティングハウスの天下と言つてもよいでせう。こゝまかく申しますと約二十會社の出品があります。RCAでは受信球製作を實演して見せて居ります。ワンユニットで組立から排氣、仕上、試驗までずらりと竝べて、ユニフォームを着た女工さんが廿五六人、專門家に見られても毒にも藥にもならない樣な球を作つて居ります。ラヂオセットの陳列は申すまでもありません。例の物體の高周波電場に於ける溫度上昇を利用した「フイーバーマシン」にはお上りさん連、只チンプンカンプンの體に見受けられました。これは實際問題として試驗時代ではありますが、醫者のうちのあるグループでは相當の熱心さを以て、その經過を眺めて居る樣に見受けられました。

家庭電化の諸器具の陳列ではジー・イー會社のものが斷然光つて居りました。（第十一圖）ジーイーではマヂックルームと稱する室を造り、そのなかで色々の素人向きのする實驗を行ひお上りさん連を驚かして居ります。スケネクタディーの研究所より派遣されて來たと稱する話の上手な係員が口上よろしく、十種類程の實驗を行ひます。眞空管界の流行兒光電管とサイラトロンを應用して直接手を觸るゝことなく色々の機械的動作や、或は電氣的の現象を行はしめたり、又ブラウン管を用ひて低周波と高周波の說明をしたり、簡單な高周波發振裝置を側に置いてネオン管、ヘリウム管、アルゴン管等の無電極放電を行はしめたり、或は螢光體を塗布した大きな布を身につけ、紫外線下に立つてその華麗な模樣を見せたりして居ります。サイラトロンによる劇場照明のコントロールを實演して居りました事は勿論であります。

第九圖　榮譽の庭

このマジックルームは百人程の見物人を入れる事の出來る廣さで正面に舞臺がしつらへてあつて、これを當時流行のエヤーコンディショニング裝置により氣持のよい涼しさを保つて居ります。一通り實驗がすみますと一くさりジーイー研究所の手前味噌を竝べて幕と云ふ事になります。ジーイーの陳列としては尙白熱電球、紫外線ランプ等のあるのは云ふまでもありません。世界第一の電球として五十キロワットのランプが出品されて居りましたが、直徑約二尺程の硝子球



第十圖　電氣館

第十一圖(a)　最新の家庭電氣器具

であります。これはクリーブランドのネラバークにあるジー・イーのランプ工場から出品されたものであります。ジー・イーの出品物の天井には第十二圖にあるやうな巨大な圓筒が立つて居り、これには電氣の應用の百般の姿態が畫かれて居ります。ウェスティングハウスの出品もジー・イーと竝んで異彩を放つて居ります。學術的の出品は寧ろジー・イーより多い樣でした。殊に無線關係の出品物は色々と工夫がこらされて居る樣に見受けられました。しかし新奇なものとしてはたばこをくわへたロボットがつくねんと立つて居りまして數種の動作を致し、人氣を博して居る位のものであります。これ等の外、電氣館には尚世界一のトランスホーマーとか、水力發電機の回轉子などが出品されて居ります。電氣館の見物を終り、その半圓徑のやうな建物から中心の廣場へ出ませう。振返つてそこから眞赤に色どられた館を眺めますと、第十三圖にあります樣な大きな裸像を刻した二つの壁畫を見る事が出來ます。

第十一圖(b)　最近の調理用電氣器具

電氣館を去つて南へ進みますと、小供の爲の色々の娯樂機關を供へた魔法の島があります。更に進めば園藝館が美しい存在として控へ、又ホリウッドと呼れる見世物があります。これらは何れも入場料を要します。こゝから半圓形をなした橋を渡つてもとの側にもどりませう。橋の片側は賣店が立竝び、先づ仲見世と云つた樣な情景を呈して居ります。この邊は博覽會のお祭り騷ぎの氣分を遺憾なく出して居り、入場料を取つて見せる所が可成り澤山あります。潜水艦の古を拂下けて貰ひ岸につないで見物せしめたり、例のバード少將の南極探險船を同樣につないで見物せしめて居ります。この邊りでやゝ異彩を放つて居るのは、宗教館とファイヤー・ストーンの建

第十二圖　電氣館内『魔法の家』の天井

第十三圖 (a) 電氣館のレリーフ

物であります。後者では自動車のタイヤーの製作を實演致して居ります。

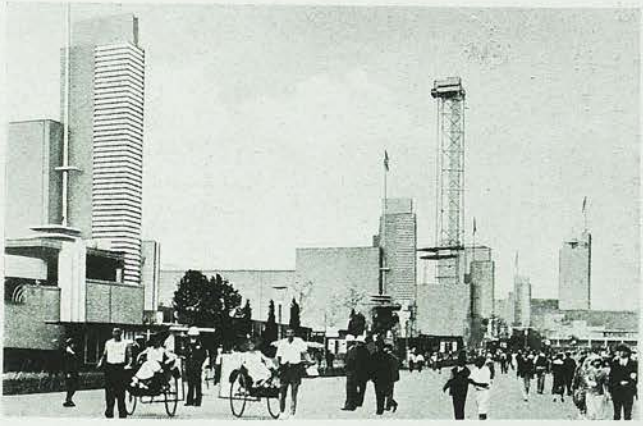
更に北へ戻れば一般陳列館とでもいつてよい建物があります(第十四圖)。この館の貧弱なことはお話しになりません。先づ勸工場の大きいのと言つてよいでせう。これの北側は既に御承知の科學館となつて居ります。そして先づこの邊で第一日の見學を終る事と致しませう。

四、會場の見學(その二)

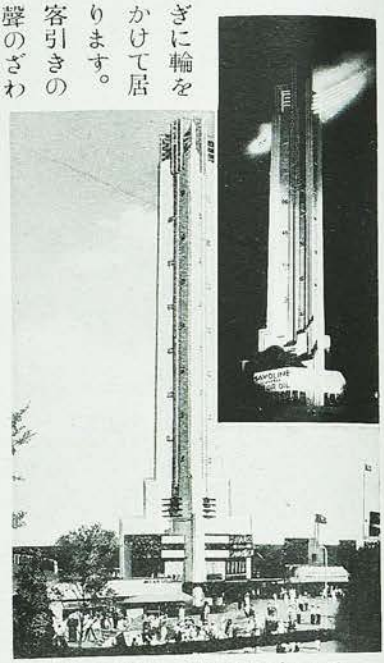
市内から會場へ集つて來るバスは、正門卽ち北入口の前を終點とするものと、會場の西側を南へ下つて行くものと二通りあります。今日は後者の方に乘つて二十三丁目で降り、そこの入口から入場致します。入場料五十仙拂ふのは前日と變りありません。この入口の狀景も正門のそれに大同小異であります。廣場の眞正面に二百呎の高塔がそびえて居ります。これはオイルのリファイニングを致して居りますインディアン・リファイニング・コンパニーの手で作られましたもので、一種の廣告ですが、塔の全長を一つの寒暖計に形作つてあります(第十五圖)。十度の目盛りの間隔が十呎卽ち一度一呎となつて居るわけで、溫度が表示される管はネオン管で出來て居り、階下にあります特殊の寒暖計によつて電氣的に動作せられ、その時その時の溫度をネオンの光りの長さで示して居るのであります。世界一の寒暖計とでも申しませうか。「ハヴォリン・サーモメーター」と呼んで居ります。

第十三圖(b)『電氣館のレリーフ

この塔の右に「巴里の街」と呼ばれる船の形をした建物があります。これは入場料別拂ひで、なかでは賣店にキャッフェに巴里氣分を滿喫させ様と仕組んだものであります。古風のお城を示したベルギー村、曰く何、曰く何と有料無料取まぜて、これから南交通館に行くまで、所謂奥山式の見せものがお祭り騒



第十四圖 一般陳列館



第十五圖　200呎の寒暖計

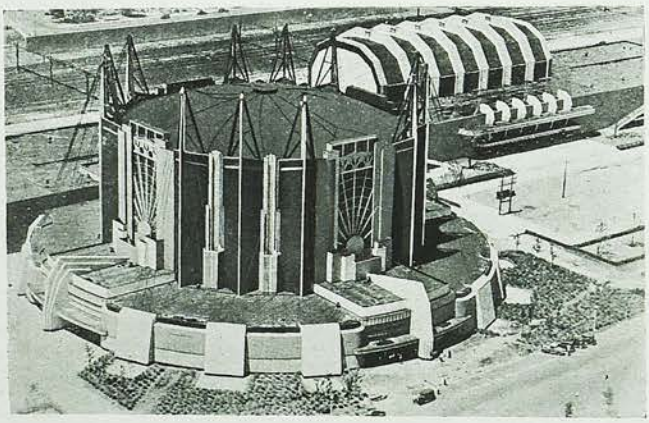
ぎに輪をかけて居ります。客引きの聲のざわめきのなかを南へ南へと進みます。右にフォート・デァボーンのレプリカを見物(有料)して、更に次の時代の住宅建築と稱するもの丶實物模型を眺めて(第十六圖)進めば、右は米國陸軍のキャンプとなつて居ります。新式科學戰の武器を竝べて一種の示威運動を致して居ります。天幕内には常時數ヶ中隊程の兵員が駐屯して居り、兵員は晝寢と博覽會見物に日を送つて居る有樣であります。博覽會に兵隊さんの實物出品とは實に振つて居ります。

こゝまで來るともう交通館は目前に迫りました。左にヂエネラル・モーターズの建物を仰ぎながら、右にクライスラーの陳列所をのぞいて行きませう。北に伸びた建物の袖の所から入ります。

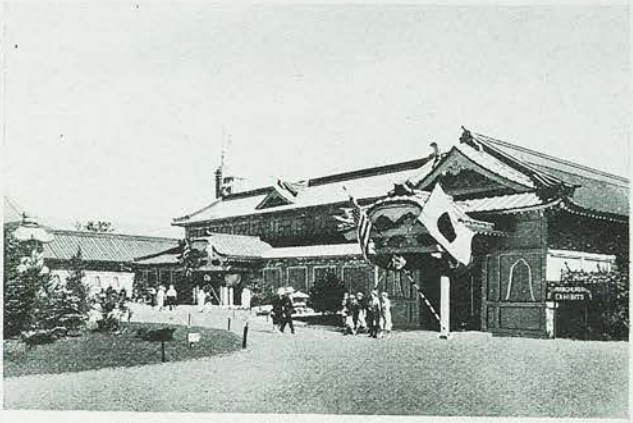
今世紀の驚異航空事業の進歩こそ正に現代米國の誇りでありませう。ライトビーコンとラヂオビーコンは暗も雲も霧も完全に征服してしまひました。サンフランシスコよりニューヨークまでを新鋭のボーイング機によるならば、實に十八時間餘で到達する事が出來るのであります。時速百五十哩以下の旅客機は次第に幹線より追はれんと致して居ります。それにしてもビーコンの設置のあまねく行きわたつて居るのには全く感心させられます。大廣間の特異な建築樣式(第十七圖)の下には、新鋭ボーイング機が飾られて居ります。

鐵道の方では例の問題のエアー・コンディショニング・カーの陳列が人を集めて居ります。戸外には五六本の列車がレールの上に列べられてあります。そのうちで何と言つても人目を牽くのは、はるばる英國から持つて來

第十六圖　次の時代の住宅設計



第十七圖　交通運輸館の建築樣式



第十八圖(a)　清楚な日本館

た「ローヤルスコツト」と呼ばれる一列車でありませう。ロンドン・グラスゴー間の急行列車でありまして、スケールは米國の列車に比し大分小さい様ですが、その善美を盡した設備には、さすがのヤンキーも感心して居る様でした。

會場の大通りに出て北へ進みます。右に鐵道の歴史的の實演を眺めて進めば、ヂエネラルモーターズのビルディングが堂々と聳えて居ります。このなかで目につくのはシボレーの製作工場の一部を持ち來り、實際に製作して見せて居ることであります。なかなか大きくやつて居りまして、千人程の見物人が一度に見ることが出來る様になつて居ります。

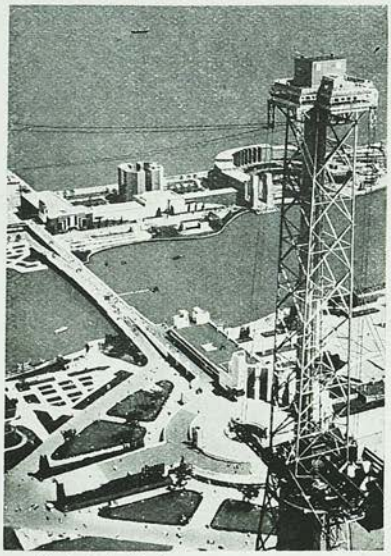
こゝを辭してすぐ三十一丁目の場内バスの停留所より、例のグレイファウンドの自動車に乘つて十六丁目まで一氣に歸つて參りませう。こゝに我が日本館がその寂びた姿を現して居ります。今次博覽會の諸建物が何れも尖端的であり色彩は強烈なのに比し、我が日本館は餘りにも清楚であり餘りにも淡白であります（第十八圖）。これを隣りの熱河のお寺（實際は支那人が建てたものではない）の極彩色に比べれば、實によい對照をなして居ります。事の良否は申しませんが、お祭り騒ぎを主體とするこの種博覽會では、果してこの度のやうな日本館の作りが有効適切でありましたでせうか。勿論米國人のうちにもこうしたゆき方を理解して呉れる人もありませう。しかしそれは百人に一人か、否千人に一人位のものでありませう。何もゴテゴテを禮讃するのではありませんが、モツト米國大衆を把握する方法がなかつたのでせうか。それに宣傳に宜しきを得て居なかつた様であります。

しかし内部の狀況はそんなに惡いものではありませんでした。むしろ外國よりの出品としては第一と言つてよいでありませう。日本位眞面目に色々の品を出して居る所は先づ見當りませんでした。只カビの生えた様な科學上の諸器械だけは無くもがなの感なきを得ないと云つた狀態でありました。絹ハンケチの飛ぶ様な賣行きとキレイな和服をキチンと着て、眞白いエプロンを掛けたサービスガールが愛嬌よく給仕して居るジャパニーズ・テイ

第十八圖(b)　日本館前の庭園

ルームのなかなか繁昌して居る様子などはチヨット見ものでありました。

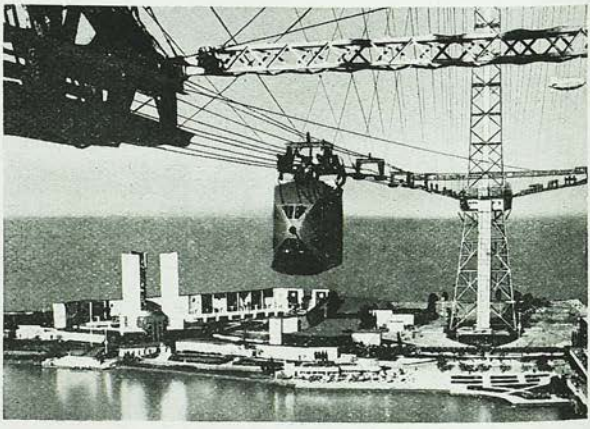
白木造りの日本館とい、對照をして居る丹青目も綾な「熱河のお寺」を右に見て進めば、すぐ左手に一大鐵塔がそびえて居ります。更に注視すればこの塔と全く同型のものがラグーンを隔てた對岸にも一つ見えます。そしてこの二ツの塔の高さのホゞ眞中から眞中へと、十數條の鐵線がひかれて居るのがわかります。これが有名な「スカイ・ライド」と呼れるケーブルカーの一種でありまして、カーを「ロケット」と呼んで居ります。塔と塔との距離約一千八百五十呎、ロケットの走行する高さ二百二十呎、十臺以上のロケットが一定の間隔を置いて、一分間六百呎のスピードで動いて居ります(第十九圖)。高い所からの見物も亦なかなかの見ものであります。塔の高さは六百二十八呎、建物としたら六十四階のビルデイングに相當して居る由であります。頂上に見物臺がありまして、こゝまで上るにはエレベーターによるのであります。「ロケット」に乘る時もやはりエレベーターによるのでありまして、ロケットは科學の橋と平行して進んで參ります。



第十九圖(a)　スカイ・ライド

斯うして又島にやつて來ました。前日見殘した米國館と農業館とを見れば、一通りの見物は終つた事になるのであります。前者の建物は州別に別れて居りまして、各州思ひ〳〵の趣向をこらして、自州の宣傳に大童になつて居ると申上けたいのでありますが、實際は半分までは空家で不景氣の裏書きをして居る様なものであります。農業館は食料品の展覽會場と言へばよろしいでありませう。ブラリブラリとラグーンの北端をなして居る橋を渡れば再び北入口、正に表門に歸着するのであります。

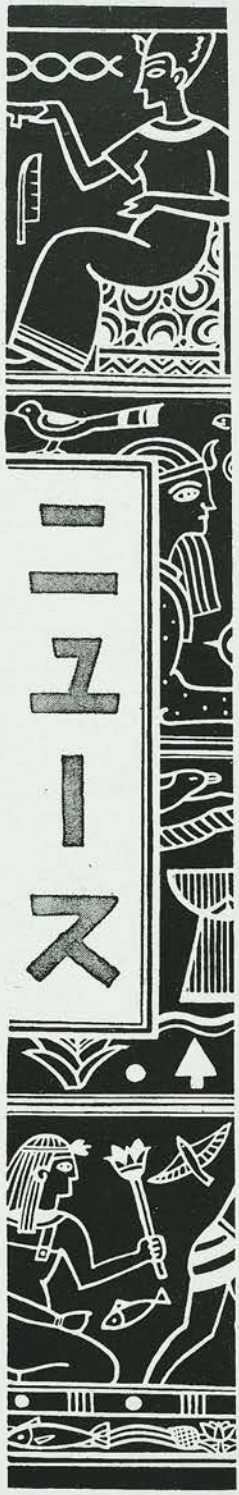
この外尚イクツでも書きならべればたくさん申上けたい事がありますす。しかしあとは又何れその方面の專門家が御調査の上、有益な御發表があるものと期待致しますので、こゝではそれまでのホンのつなぎの意味で、これを以て御許しを願ひたいと存じます。



第十九圖(b)　シカゴ博のスカイ・ライド

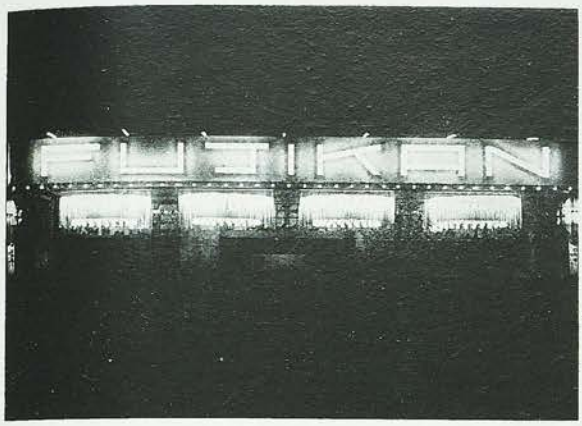
僕は日本館の屋根の上へ『日本よりアメリカのレデイへ』と、大スロオガンを掲げる。出品は女の飾りたがる眞じゆ、女の欲しがる絹、女のお氣に召す茶、それだけで好い。相手は女第一の米國だ。これに全力を盡す。

秦豐吉氏——日本館の印象



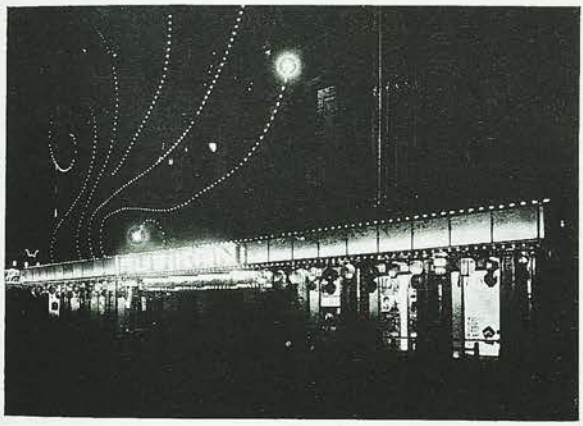
照明

淺草富士館のサイン



淺草富士館正面のサイン

淺草の日活映畫殿堂「富士館」はネオン或はランプのサインが次々と出來其都度本欄に報道したが最近又前面庇に大增設された。ネオン管赤、青直線を中に入れた光築とも稱すべきもの、ネオン管を四〇米も使つて居る。ローマ字は間接式ランプサインで入口上部に二段のランプ環が四個點燈してあり、映畫街の華として燦然偉觀を呈して居る。（石上）



淺草富士館の電氣サイン

帝國社のネオンサイン

弊社川崎本社の近傍、オオホルミン、スペルマチン製造所として知られて居る帝國社臟器藥研究所の煙突に、寫眞に示す様なネオンサインが設置せられた。ネオン管は赤色で四三米も使用して居る。（石上）

帝國社のサイン

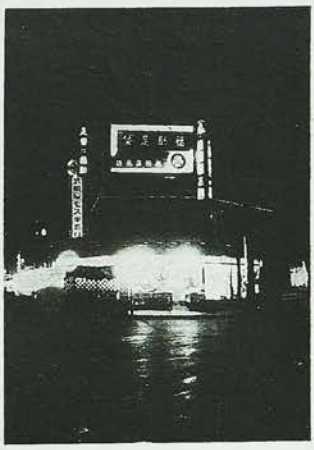
蟹料理「浮世」のネオンサイン

横濱、本牧の蟹料理店「浮世」に出來たネオンサインは、赤色ネオン管を以て蟹を表現した點は、ネオンの妙味を發揮したものと稱すべきであらう。（石上）

蟹料理浮世のサイン

福助足袋のネオンサイン

澁谷道玄坂、高田洋品店のネオン看板、面をアルミニユーム張としたのでネオン管の反射が特に美しい。（石上）


福助足袋のサイン

玉塚商店のサイン

東京地下鐵日本橋驛の高島屋口に公債株式店『玉塚商店』のネオンサインが出來た。

地下鐵日本橋驛の玉塚商店のサイン

ビタミンビールのネオンサイン

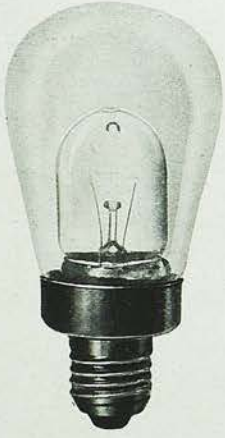
銀座四丁目エビスビヤホールの角につけられたネオンサインで、ビタミンビールの出現を祝つて掲載した。（石上）

ビタミンビールのサイン

製品

新型鑛山燈

從來鑛山燈といへば、手提燈或は帽燈に使用する蓄電池を電源とする小型電球であつたが、近頃坑内一般照明用の安全電球が出來た。これはガラス球内に更に一個のガラス冠帽と雲母板とがあり、冠帽の上部には二個の小孔、底部には空隙があるから、冠帽の内外


新型鑛山燈

は普通のガス入電球用のガスが流通し得るやうになつて居る。

電球を點火すると點燈の方向に應じて封入ガスが對流作用によつてガラス冠帽の内外を循環する。ガスの對流は外側のガラス球が破壊せられた時でも依然として行はれ、以前からの繼續した流れに從つて、外氣が徐々に極く微量宛侵入して内部の不活性ガスと混和しながら、高熱纖條に接觸するが、其場合タングステンと化學的作用を起して不燃性ガスに變ずる一方、タングステン纖條自體も次第に細まり遂に燒斷するから危險は全くない。

但しガラス冠帽も破壊されゝば、普通のガス入電球破壊の場合と同樣な結果になるから、これを防止するために特別な附屬器具が出來て居る。

五アンペア・テコライト シーリングスヰツチ

今回ベークライト製のテコライト・シーリングスヰツチを發賣する事となつた。

その特徴は左の通りである。

一、ベースもカバーも漆黒のテコライト製であつて、其の洗練された形と相俟つて非常に體裁が良しい

二、カバーは捻子込式になつて居るから取外しが容易である

三、構造に無理がなく且つ主要部分が密閉され居るから故障がない

四、引紐の最も切れ易い部分には金屬製の高級チエーンを使用したので、スヰツチの耐久力を數倍にする

五、兩ターミナルの中間にある小形のリングを廻せばスプリングの調節が出來、引紐の强さを加減する事が出來る

六、小形であるけれども五アンペアまでは充分使用が可能である

七、値段が低廉である

用途

天井用のスヰツチとして配線工費の節約となり、ウオールスヰツチの代用として子供にも操作が容易である。

主要寸法

ベースの直徑　五八粍

取附孔の距離　四三粍

高さ　四四粍

紐の長さ　一、三〇〇粍

定價

型錄番號二七六五　五アンペア片切　〇・三六圓

型錄番號二七六六　五アンペア片切フューズ入　〇・三八

シーリングスヰツチ

夜間撮影に最も便利な 中型マツダ寫眞電球

寫眞界最近の傾向は日光より人工光線への轉向であつて、これは夜間撮影の需要が夥しく增加しつゝある現象に歸因する。特にこの傾向に拍車をかけたものにマツダ閃光電球、小型マツダ寫眞電球があり、今回更に小型より一步進んだ、特殊の封入瓦斯、優良なフィラメントと硝子材料、獨特の技術による中型マツダ寫眞電球が新發賣された。

中型寫眞電球は出張撮影、三二ミリのロケ

中型寫眞電球

ーション用として最も工合良く、尚八ミリ、九・半ミリ等の小型活動のパンクロフヰルム用として中型一個で、相當の廣さ迄撮れて一層興味を增すわけである。家庭の電燈線より使用が出來て、トランス又は大仕掛な器具の不要なのが最も特長である。

性　能

消費電力　一〇〇V—四五〇w

燭　力　一、五〇〇燭光

光と外觀　强烈な光にも拘はらず少しもギラつかず、純白にして球全體から均一に溢れる全光式

中型マツダ寫眞電球壹個にて撮影

寫眞電球による撮影

距離	被寫體と電球　三米
	〃　レンズ　五米
乾板	イーストマン五〇番
露出	一秒
絞り	F四・五

器　具　マツダ寫眞器具壹號

マツダ寫眞電球（中型）

定　價　一・〇〇圓

四つ切り用パール硝子板（拾吋×拾貳吋）

數　量　一—四　送料共　一・六〇圓

新製品屋內照明器具

トロジヤリヤA型、B型、C型、D型等の既製品は市場に有ふれた感があり、建築も新樣式に變遷して行くので、現代向の左記のやうな新製品三種を發賣し、一般需要家の趣好に資する次第である。

(1)　トロジヤリヤE型

外觀は從來のトロジヤリヤA、B、C、D型の變型で、近代味のある建築物に適合した斬新型と云へよう。

從來のA、B、C型のいづれの金具にも組合され、寸法も十六吋、十四吋、十二吋、十吋の四種がある。

(2)　トロジヤリヤF型

1、型錄番號	四四五〇	トロジヤリヤE型十六吋パールグローブ	十四吋〃	（三〇〇—五〇〇W）
〃	四四五一	〃	十二吋〃	（二〇〇—二五〇W）
〃	四四五二	〃	十　吋〃	（一〇〇—一五〇W）
〃	四四五三	〃	〃	（　六〇—一〇〇W）
2、型錄番號	四四五五	トロジヤリヤF型十六吋パールグローブ	十四吋〃	（三〇〇—五〇〇W）
〃	四四五六	〃	十二吋〃	（二〇〇—二五〇W）
〃	四四五七	〃	十　吋〃	（一〇〇—一五〇W）
〃	四四五八	〃	〃	（　六〇—一〇〇W）
〃	六九一五—四	トロジヤリヤF型十六吋グローブ用金具	十四、十二、十吋〃	（三〇〇—五〇〇W）
〃	六九一六—四	〃	〃	（　六〇—二五〇W）
3、型錄番號	四四七五	トロジヤリヤG型十六吋パールグローブ	十四吋〃	（三〇〇—五〇〇W）
〃	四四七六	〃	十二吋〃	（二〇〇—二五〇W）
〃	四四七七	〃	十　吋〃	（一〇〇—一五〇W）
〃	四四七八	〃	〃	（　六〇—一〇〇W）

定價

型錄番號	品名	適合電球	定價(圓)
四四五〇	トロジヤリヤE型十六吋パールグローブ	三〇〇—五〇〇WC	七・九〇
四四五一	〃 十四吋〃	二〇〇—二五〇WC	五・六〇
四四五二	〃 十二吋〃	一〇〇—一五〇WC	四・〇〇
四四五三	〃 十 吋〃	六〇—一〇〇WC	三・〇〇
四四五五	トロジヤリヤF型十六吋パールグローブ	三〇〇—五〇〇WC	八・二〇
四四五六	〃 十四吋〃	二〇〇—二五〇WC	五・八〇
四四五七	〃 十二吋〃	一〇〇—一五〇WC	四・一〇
四四五八	〃 十 吋〃	六〇—一〇〇WC	三・二〇
六九一五—四	トロジヤリヤF型十六吋グローブ用金具	三〇〇—五〇〇WC	七・四〇
六九一六—四	〃 十四、十二、十吋〃 〃	六〇—二五〇WC	五・〇〇
四四七五	トロジヤリヤG型十六吋パールグローブ	三〇〇—五〇〇WC	六・九〇
四四七六	〃 十四吋〃	二〇〇—二五〇WC	四・八〇
四四七七	〃 十二吋〃	一〇〇—一五〇WC	三・四〇
四四七八	〃 十 吋〃	六〇—一〇〇WC	二・七〇

外觀は全く從來の形狀を脫し二段型とも云ふべき新型である。

グローブは細長い形狀の爲、金具はF型專用の型錄番號六九一五が十六吋グローブ用で、型錄番號六九一六は十四、十二、十吋グローブに各共通で何れも鎖吊である。

以上の標準仕上はオールドブラスであるが御要求で何仕上にも應じ得られる。

(3) トロジヤリヤG型

外觀はセミパラソリヤの大型に類似して居るもので、グローブの底部が空いて居るから、直射光線でグローブ直下は多分に照明せられる。

それ故にバイタライトランプの三〇〇W、五〇〇Wを十六吋グローブに附けた際のグローブ直下、バイタライトランプの中心より一米の距離に於て菫外線の强さは、器具のない電球のみの場合の一・五三倍の結果を得て居り、一名バイタライト用グローブとも云へる。十四吋、十二吋、十吋の各型は單に照明用として推奬する直射光線が强いので、明るさは球型のグローブの比ではないから、艶消電球を使用しないと眩輝を感ずるので、御注意を願ひ度いと思ふ。

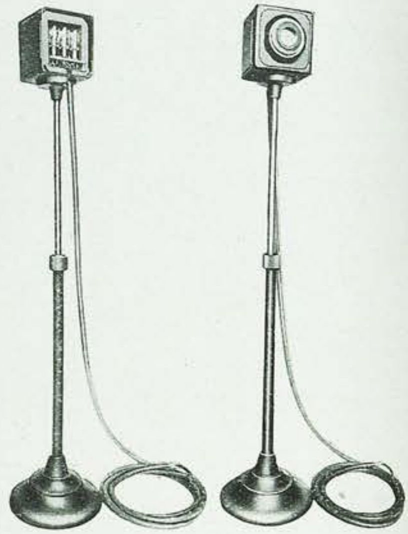
適合金具はトロジヤリヤD型のものと共通であつて、卽ち直付にも鎖吊にもパイプ吊にもなる。

右今回發賣の三種新製品は能率、體裁等も優れて居り、事務所、商店、デパート、驛ホーム、住宅等に適し、從來のトロジヤリヤA、B、C、D型に換る製品である。

ラヂオ

コンデンサー・マイクロフオン マツダVP—二二型

寫眞は今回弊社に於て製作したコンデンサー・マイクロフオンであつて、音聲周波三〇



我社製コンデンサー・マイクロホン

より一〇、〇〇〇サイクルまで完全に電氣に換へ得るもので、電氣的にも完全に遮蔽されて居り、防震装置も完全なものである。

増幅器はマツダ眞空管UX－八六四型三個を抵抗增幅三段にしたものである。（長尾）

照明學校

八月中の參觀者

八月中の照明學校は暑中にも拘らず、近年稀に見る多數の參觀者が來校せられた。參觀者の主なる團體數一〇組其人數四五一名、一般參觀者二八九名、合計七四〇名であつた。

主なる團體參觀者

日本工作教育協會	一六
荒川マツダ會	一五
全國中等學校女教員會	五〇
布哇在留邦人見學團	一五
山手マツダ從業員講習會見學團	二〇〇
軍艦金剛乘組員	六五
遠山照明研究所	一五
世田ケ谷マツダ會	一三
城南マツダ會	四六
陸軍通信學校	一六
小計	**四五一**

一般參觀者

海軍艦政本部海軍中將杉政人閣下他　二二八名

八月中參觀者合計　七四〇名

電燈會社幹部照明研究會竝に第十四回照明講習會

電燈會社幹部照明研究會竝に第十四回照明講習會は、夫々左記のプログラムによつて擧行されることに決定した。

特別講演者

早大教授　工學博士　佐藤功一氏

帝大教授　工學博士　澁澤元治氏

遞信技師　堀岡正家氏

電燈會社幹部照明研究會プログラム

	九時 〜 正午	正午 〜	解散時刻
拾月拾九日（木）	挨拶（清水副社長）／懇談會	建築と電氣座談會（特別出席、佐藤教授）／照明見學	八時
廿日（金）	最近照明ニュース（照明課員）	電力行政（澁澤教授）／照明見學	九時
廿一日（土）	見學	見學	未定
廿三日（月）	歐米ラヂオの現狀（今岡）	交流配電網に就いて（堀岡技師）／照明見學／觀劇懇親會	拾時

見學箇所　夜の野球場照明、淺草寺照明、新議事堂、遞信省式テレビジョン、東京劇場、松竹蒲田撮影所、フロリダ・ダンスホール、偕樂園、日々新聞社竝に寫眞電送装置、夜の銀座、淺草、新宿巡回、其他

第拾四回照明講習會プログラム

	午前九時 〜 正午	正午 〜	解散時刻
拾月廿三日（月）	挨拶（清水副社長）／歐米ラヂオの現狀（今岡）／特別講演（堀岡氏）	見學	四時半
拾月廿四日（火）	社內見學、茶話會及ビ見學	社內見學、茶話會及ビ見學	九時半
拾月廿五日（水）	技　照明概論（黑澤）／事　廣告技術と其活用（松原）	電球（桑田）／家庭電氣（星野）	四時
拾月廿六日（木）	見學	見學	未定
拾月廿七日（金）	技　配線（國房）、光電管（十合）／事　照明概論（黑澤）	見學／夜の野球試合實演（會員紅白試合）	九時
拾月廿八日（土）	街路照明（伊藤）、紫外線照明（國房）	投光照明（土居）／見學	八時
拾月卅日（月）	商店照明（小西）	工場照明（土居）／懇親觀劇會	拾時
拾月卅一日（火）	舞台照明（河野）	特別講演（土浦氏）／送別會	九時

特別講演

交流配電網に就いて　遞信技師　堀岡正家氏

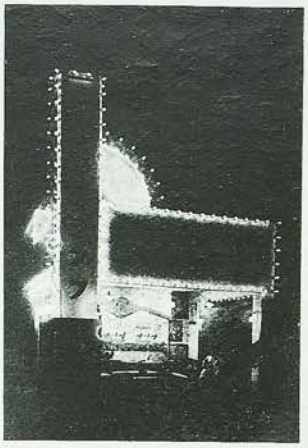
新らしき建築から見た照明　大倉土木技師長　土浦龜城氏

見學箇所

夜の野球場（有志試合實演）、遞信省式テレビジョン、淺草寺、新議事堂、東京朝日新聞社、高島屋、小西寫眞機店、寫眞化學研究所、帝都ダンスホール、旭硝子工場、夜の羽田飛行場、喫茶店コンパル、東京市内夜景（巡回）、東京劇場、其他

雜報

元山電氣會社の休憩所



元山海濱博覽會の内部の電氣山元の休憩所

元山水力電氣會社では、今夏地元に海濱博覽會が開催せられたので、一般入場者に奉仕のため、無料休憩所を設けられた。

殊に夜間は休憩所に心地よい照明を横溢させたため入場者に照明向上の實例を示し、多大の注意を喚起した。

海外

シカゴ博通路の照明

シカゴ大博覽會の構内の照明には二、一〇〇キロの電力が使はれるだけあつて、電球、アーク燈、放電管と各種の光源が用ひられ、中でも電球は一五、〇〇〇個、投光器の數は一、〇〇〇ワットが一、〇〇〇個、二〇〇ワットが二、二〇〇個を用ひて居る。

尚博覽會構内の通路には一九三一年パリで開かれたフランス殖民博覽會の例にならつて寫眞に示す様な蕈形の照明器具が二、〇〇〇個以上も八〇呎おきに施設されて居る。此蕈は光源が下にあつて、半透明の笠によつて反射され、通路や路傍の草を明るく照らし、眼には弱い光しか來ない様になつて居る。

シカゴ博通路の照明

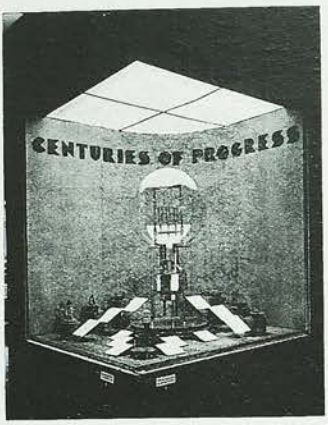
五十世紀間の燈火の發達

シカゴ博電氣館内に五十世紀間に於ける燈火の發達を物語る陳列がある。先づ五十世紀以前としてはバビロニヤのビスミヤ市で用ひられた石燈がある。これは一八九九年にシカゴ大學學術探險隊が發掘したものである。

二十五世紀以前には南歐で用ひた胡桃やオリーブ油を用ひた油燈、十九世紀以前の聖書物語に出てくるヴァヂン・ランプ、一〇世紀以前のローマ其他南歐の華美な住宅で用ひられたブロンズ・ランプ、三世紀以前に北米ニューイングランドの初期のアメリカの家庭で用ひられたグリースを燃料としたベッテイ・ランプ、一世紀以前のシカゴの人々が盛んに

用ひた鯨油燈等がある。

一八七九年にエヂソンの實用的白熱電燈が發明されて以來、現今に於いては器械に取附けて人體内部を見る『麥の粒』位の〇・五ワット以下の電球から、世界最大の五〇キロワットの白熱電球に至る迄、五十世紀間の燈火の代表的の變遷を示して居る。

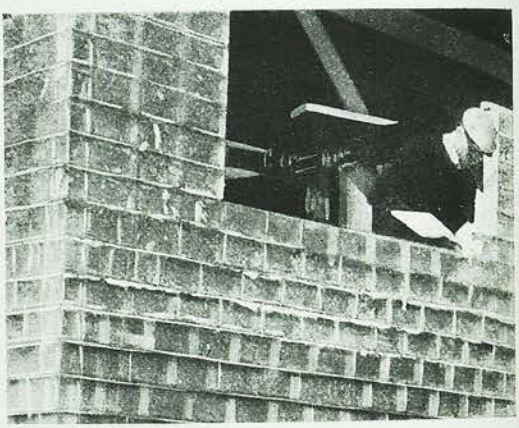


世界第一の電球

次の時代の住宅建築

シカゴ博には現在並に將來の我々の住宅をよりよいものとしやうとの趣旨から、住宅建築館が設けられた。此處には住宅に關する煖房、給水、冷房等に關するものは勿論、家具並に家庭用器具、更に建築材料等についてまでも廣い範圍に展示されて居る。

此の住宅建築館のうちで、明日の住宅として人目を惹いて居るのは、一本の太いマストを主柱として、その周圍に硝子製の煉瓦で圓形をなした住宅を作ると云ふ案である。それでこの住宅内では外部から透明な硝子煉瓦を通じて見へ透くので、それを防ぐには内部に蓋や窓掛けをするのである。



硝子煉瓦の住宅

此の住宅では電氣的に制御されるドーアへ飛行機から各種の物資を供給するために、床に飛行機のハンガーが取附けてある。又通風は十分間毎に濾過し洗滌された空氣を、氣候によつて或は熱し或は冷房して供給する。

此の硝子煉瓦の家には照明器具が見へない。それは必要な人工光線は隱蔽された場所から、間接照明が施されて居るからである。寫眞は硝子煉瓦の家の一例を示して居る。

電氣館の『魔法の家』

シカゴ博電氣館内の呼びものの一つに『魔法の家』がある。これは寫眞の左側の戸口から百人位の人を入れて、その内部にある各種の物珍らしい實驗をして見せるのである。

此の『魔法の家』は最も難解な學理を容易に會得させるために考案された教育的な出品物であつて、世紀の進歩を見んとする見物人には、驚異の的となつた由である。

電氣館の誇り『魔法の家』

浮世繪の美人の落籍

近松秋江

日光で近年一夏を過すことにしてゐる私は、その地のある美術商の店の浮世繪のコレクションの中にもう、去年から魅惑を惹きつけられてゐた一人の美人があつた。

それは菊川英山の青樓竹枝八景の一つであつた。題して「きぬ〴〵の歸帆」といつてゐる。

何といふ私の好奇をそゝる色彩姿態であらう。私の過去の藝術は既に一應清算したつもりであらが、そして、私の過去の體驗であつた戀愛の惱みからも、もう遠うに解脫してゐたのであつた。

然るに、日光に來て浮世繪のコレクションを、あれこれと愛鑑してゐる中に、はしなくも私は、そこに英山の「きぬ〴〵の歸帆」を見出したのである。

慄々衣に堪えざる風情の美妓は、今しも歸りゆく嫖客の後を追ふて、大きな表階段を驅けおりて來るところである。客は、すでに廊下にでも降りたか、姿は見えぬ。畫面には、たゞ彼女の階段に於ける立姿のみが見られるのである。眞白い、すんなりした右の脛は、膝頭のあたりまで緋縮緬の蹴出しに絡まれて露出し、左の脚は、淡い小豆色の小濱小紋の、はぎの寢巻の裾に深くくるまれたまゝ、うしろざまに宙を蹴つて、今にも次の段を踏まうとする動の姿態。籠の鳥なる彼女の戀は、間夫か客色か。きぬ〴〵の別れを惜みて、戀しい男の後姿を追ふ情調が彼女の全姿に溢れてゐるのも嬌めかしい。

杉風であつたか、誰れであつたか七部集の俳句に、

きぬ〴〵やあまり纖細くあてやかに

といふのがある。

今、浮世繪のコレクションの中に偶然發見したる英山の美妓の、何ぞよく、私が十七八年の昔、京の祇園で見た遊妓の姿態に似てゐることぞ。上品なる落着きを表はしてゐる黒縮緬の廣幅の半衿の寐巻の裾もしどけなく、緋縮緬の襟、鹿の子しぼりの襦袢の胸は、豐かなる乳房も見えさうに亂れたまゝである。七寶織の襠珍の前帶も柳腰には、さぞ重さうである。

しかし鼈甲の大かんざしを挿した、つぶし島田の髮は、さすがに

一筋も亂れては居らぬ。切れの長い瞼には、尙ほ昨夜の夢の名殘りをとゞめてゐるかのやうに情けを含んでゐる。

浮世繪の美人には、いろ〳〵ある。就中歌麿の美人は、最も知られてゐる。しかし私は、それが、あまりに現實味を超越してゐることに、往々物足りなさを感ずる。鈴木春信も好ましいが、これもやや同樣の憾みがある。初代豐國の美人もまた佳麗で豐婉であるが、これには漂渺たる餘情が乏しい。英山の美人は、それ等のいづれよりも、やゝ卑俗かも知れぬが、實感味に富んでゐる。一層見る者の官能を刺戟するのではあるまいか。

さうして私は、この英山の「きぬ〴〵の歸帆」を、去年の夏、見染めてから、日光に居る間中殆ど毎日の如く、その古美術商にいつて靑樓の美妓を熟視してゐた。

しかし彼女を手活けの花とするには、大枚參拾圓を以てせねばならなかつた。私には、その時それを買ふだけの餘分の金がなかつた。

それは、恰も紙治が小春を根曳するに窮したのと似たやうなものであつた。忠兵衞は、たうとう堂島のお屋敷に屆けねばならぬ三百兩の爲替の金の封を切つて、戀する女の身受けをした。

すると、そこへ私にとつて、伊丹の身すがら太兵衞が阿波の客ともいふべき一人の戀の强敵が顯はれた。それは金谷ホテルに泊つてゐるドイツ人であつた。彼も日本の浮世繪が好きと思はれて、その店へ度々見に來てゐた。

ある日の午後、私は、いつものやうに、東照宮の山門から街へ散歩に出たついでに、その美術店に入り、又、例の浮世繪の畫帖を見せてもらひたいといふと、店の娘は、

「あの英山の妓は、昨日、ホテルに泊つてゐるドイツ人が買つてゆきました。」

といふ。

その娘は、東京のミッションスクールを卒業して家業を助けてゐるので、浮世繪のことには相當通じてゐた。私は、彼女から廣重の名物版が、どんなものであるとか、雪景のどれがいゝのだとか、雨のどれがいゝのだとか、いふやうなことを話して聽かされてゐた。私は廣重が好きで、遠うから、せめて廣重だけでも、委しく鑑賞してみたいものだと思つてゐたが、今日まで、その暇もなくて過ぎた。日光に來てゐる間に、その廣重を見る機會を得たことも、一つの收獲であつた。

それで、美術店の娘から、英山の美妓がドイツ人に買はれたといふことをきくと、私の顏の色の變つたことが自分でも分つたくらゐに、私は失望を感じた。

「えツ、英山の美人をドイツ人が買つていつた。」

私は、年がひもなく、あまりに失望の感情を露出しさうであつたので、じつとそれを押し堪えながら、心の中で思つた。わづかに參拾圓の金のないために、これほど戀してゐる女を、むざ〳〵とドイツ人に先を越して根曳してゆかれたと思ふと、丁度戀する梅川を、

阿波の客に奪はれようとしてゐる忠兵衛、伊丹の客に小春を身受けされさうになつてゐる治兵衛の失望に異らないものを感じた。

越後の女主人といふ役廻りであるところの美術商の娘は、

『そのドイツ人も、あの繪が、ひどく氣に入つてゐたやうでした。二三度見に來て、たうたう、しまゐに買つてゆきました。』

私は、金を持つてゐる外人には敵はないと思つた。しかし、だんだん聽くところによると、この頃來る外國人も、さう金は持つてゐないさうである。或は、上海あたりから避暑に來る外國人は、金は持つてゐるにしても、日本人よりも、けちなさうである。私は、そんなことを、美術商の娘から、かねて聞かされてゐたので、

「へえ、ドイツ人が、よく買つていつたなあ。」

と、訊き返へした。すると、娘は、

「あッ、待つて下さい。あれぢやなかつたかも知れません。ほかの繪でしたかも知れません。」

「それだと、いゝんだがなあ。」

私は、やゝ胸が安らかになつた。

娘は、小僧にいひつけて、畫帖を奥から持つて來させた。

「どれ、ゐるか、ゐないか、一つ見よう。」

と、私は、失望を押隱すやうにいひながら、又、畫帖を一枚々々上から見ていつた。すると、「きぬ〴〵」の美妓は、昨日のとほり、急いで階段を驅け降りて來るところに、ぱつたり出合つた。

「ゐる〳〵、こゝにゐるぢやないか。」

娘も、こちらを見て、

「あ、ほんとうに。……やつぱり、きぬ〴〵の歸帆と書いてありますねえ。ドイツ人に賣つたのも、やつぱり、きぬ〴〵の歸帆と書いてありました。……ぢや、も一つ版の新しい方でしたかな。あ、さうでした。これより、ずつと價の安くなつてゐる方でした。」

そのドイツ人も、私と同じやうに亦た青樓竹枝の美人に魅惑されてゐたものらしいが、彼は、つひにその新版の品で自から慰めたのであらう。それを思ふと、私には、その愛すべきドイツ人の心が氣の毒である。それとも彼は版畫の新古優劣を鑑識する眼がなく、ただ單に、その構圖と、色彩のみをもつて滿足したものであらうか。

もしそうでなくて、やつぱり私と同じやうに此の色調の美人を欲しがりながら、遠い國のフォレンナアであるがゆゑに、それだけの金額をさへも必要な旅費以外に使ひ果すことが出來なかつたのだとすれば、この戀を、私は、彼に讓つてやりたくも思つた。

しかし、ドイツ人よりも尚ほ、あはれなるこの私は、去年の夏のおはりに東京に歸る時、この、きぬ〴〵の美妓を、彼女の抱へ主たる美術商のコレクションの中から落籍して連れて歸ることが出來なかつたのである。後髪をひかれるやうな思ひを殘したまゝ、東京に歸つた。

その後、一年の經過する間、日光のことを思ひ出すごとに、何より先に胸に浮ぶのは、英山の美妓であつた。今年も亦た一夏を日光

に過すことに定めた時、あの美妓が、まだ何人の手にも落籍されずに、籠の鳥でゐるであらうかと思つた。

八月の初、夕方になつて、やつと東京から、こちらに来て、その翌日早速古美術商の店を訪ふてみると、浮世絵に縞しい娘は、すぐ奥から出て来た。

私は、コレクションを取り出してもらつて、見てゆくと、世界の不況は何に幸するやら分らぬ。

きぬ〴〵の美妓は、去年のとほりに、依然として、嬌めかしい容姿で、右手で、しどけない寝衣の膝前を摘みながら大階段を駆け降りようとするところであつた。

一體私は糊口術の上から小説家といふものの仲間に入つてゐるが、小説を讀むことは、昔から、あんまり好きでなかつた。それよりも事實即ち歴史又は實錄即ち自傳、傳記などの方が好きであつた。これは他事に亙るが、歴史傳記などといふものは、純正科學よりも文學に近く、純粋藝術よりも科學に近いと申さうか、ずぶの小説では讀書の糧として滿足出來ず、さりとてカチカチの科學的資料の羅列ばかりでも面白くない。そこで、偉人天才の傳記、自傳といつたやうなものが、私には最も興味ある書籍である。

慶應義塾出身の福澤門下には、翁に接近し親しく指導を受けた人で、今尚ほ健在の人が多いこの人も、もう今から十數年前に亡くなつたが福澤さんの門下であつた朝吹英二氏の食客をしてゐた人間（これも久しく合はぬ間に、どうやら近頃死去したといふことを聞いた）その人間から又聞きに、朝吹さんの福澤觀の一端を聞かされたことがある。

それといふのがかうだ。私は、どうかして此の福澤先生の書が一幅欲しいと念願してゐた、止むを得なければ、斷簡零墨にてもよいと思つてゐた。で、以前朝吹家に食客をしてゐた、その人間が屢々私の寓居に遊びに来てゐたから、そして、その男が書畫を弄ぶことが又好きであつたから、その話をして朝吹さんの家には福澤先生の筆蹟は澤山あるだらうといふと、曰はく所があんまり無い。

何故といふに、朝吹（朝吹英二さんの事を私に語る時にも、おやぢと呼んでゐた）は、福澤先生を偉い人だとは思つてゐたが、あんまり接近し過ぎてゐて、缺點や癖をもよく知つてゐたから、吾々が、今思つてゐるほどあんまり感心してもゐなかつたのでせう。

朝吹さん、時々いつてゐた。

「あれで、隨分胡魔化しもあるし、なかなか喰へない、爺父だ」

と、朝吹さんが福澤先生を評した一面を、私に語つて聞かせた。朝吹さんからいへば、大先生は、又おやぢなのだ。

そんな譯であれほど書畫骨董に趣味深かな竹越三叉氏の評を借りていへば、一代の暁人朝吹さんでも、福澤先生の筆蹟を一つ欲しいとは思はなかつたのである。朝吹さんにしては、そんなもの手にしようと思へば、何時でも手に入る珍しくも、何ともないものよりも、定家卿の色紙とか、石田三成の書翰の斷片のやうなものが好ましかつたのであらう。

だから福澤さんの書は、朝吹さんの家に無いそれについて又、その人間が、私に話した面白い話に、福澤朝吹兩者の關係と人物との一端を端的に語つてゐることがある。

一度、かういふことがあつた。朝吹さんの處に始終出入りしてゐる骨董屋が来て、庫敷で種々な書畫骨董品を並べて見てゐるところへ、玄關から、ばたばた驅け付けた取次が、

「三田の先生でございます」

と告げると、流石の朝吹翁

「なに、三田の老人だ。そらツ早く片づけてしまへツ」と、書畫屋を急き立てて、そこに並べてあつた書畫骨董を、いそいで仕舞はして、書畫屋も別室に引退り、さて、知らん顔をして待つてゐる處へ、福澤先生はそんな事は知らずに入つて来た。

近松秋江作—自傳を通じて見たる福澤先生——の一節

編輯後記に代へて

◇

秋の感觸は香りに於ては木犀のやうに、色彩に於ては山野に咲く龍膽のやうに、しつとりとしてなんとなく落着いた氣持ちが與へられる。

都會を去つて打開けた山野を見れば、空氣は透明さを增し、彼方の遙かな家の姿もはつきりと見へ、細々とした落葉たく煙りも見へやう。

◇

世界の動きはいよいよ複雜になつて來た。日本についで獨逸が聯盟を脫退したことは、歐洲に於ける大きな動きに相違ない。この反動がいろいろの方面に、又いろいろな形式で表れて來ることと思ふが、他山の石として學ぶべきであらう。

◇

本誌巻頭には元東京市電氣局電燈課長小川榮次郎先生の『思ひ浮ぶまゝを』を掲載した。此の一文は本年春季の照明講習會で述べられたところを、先生自らものされたものである。

先生の尊い御經驗を通じての街路照明、新しい電氣利用に對する料金制等についての御意見、最後に電燈事業者が取るべき本格的のサービスについて、御經綸を語られて居られる。

◇

大阪市中之島公園に今夏開催せられた電氣サイン展覽會に就ては、大阪市電氣局電氣普及館の内田幸夫氏を煩はした玉稿、竝に九水營業課の日時本一虎氏の『一方亭の照明を見る』の照明に關する二雄篇を掲載し得たことを喜びたい。

◇

本社研究所技師松井邦寧氏が歐米遊學の砌、折よくシカゴ大博覽會を見學せられたことを伺つたので、歸朝匆々のところを早速お願して、ものされたものを本誌に掲載した。

この一文を御熟讀下されば、百年進步の跡を語るシカゴ博を大觀されうることと思ふ。

◇

シカゴ市百年の進步を語ることは、一世紀の科學の進步を語ることに歸着した。

それでアークチュラス星の弱い光をとらへて、これを光電管に入れ、電氣的エネルギーにかへ、更に之れを機械的の力にして、夜間會場の凡ての機構を始動せしめるなど、流石は一世紀の科學の進步を充分に利用して居る點が窺はれる。

昭和八年十月廿日印刷
昭和八年十月廿五日發行
定價（一部三十五錢 一ケ年四圓）（郵送料共）

東京電氣株式會社
編輯兼發行人　米山清三
東京市本所區厩橋一丁目廿七ノ二
印刷人　守岡功
東京市本所區厩橋一丁目廿七ノ二
印刷所　凸版印刷本所分工場
神奈川縣川崎市堀川町七二
發行所　東京電氣株式會社
電話（川崎 三五六一－三五六五　大森 三六五三－三六五四　振替口座東京 三一三八九四四）

出張所

東京	事務所 東京市芝區新橋一ノ三（新橋際） 電話銀座（長 代表番號 〇一八九 五五七一）
	銀座賣店 東京市京橋區銀座五ノ二 電話銀座五三二九
	新宿賣店 東京市四谷區新宿三丁目十二 電話四谷六〇〇一
大阪	大阪市西淀川區大仁東二ノ六 電話土佐堀(44)（長六三〇三、六三〇四 六三〇五、五二五一）
京都	京都市下京區四條通御旅町四三 電話本局（二一九六、二一九八、四〇九）
金澤	金澤市片町四六 電話長一五四七
廣島	廣島市大手町一丁目 千代田ビルディング内 電話二八三二
名古屋	名古屋市中區新柳町六ノ三 住友ビルディング四階 電話本局長二五九八
仙臺	仙臺市國分町四丁目一五九 電話長一三三二
札幌	札幌市南二條通西四丁目 北門貯蓄ビルディング内 電話長九八九
福岡	福岡市天神町八 電話二一二六・二九七八・四七九五
小倉	小倉市大阪町 小倉ビルディング内 電話六一五・長六一六
臺北	臺北市京町二ノ三 電話長七二三
京城	京城府黄金町二ノ一九五 東洋拓植ビルディング内 電話二九八九
大連	大連市榮町四（連鎖商店街本町通角） 電話長五二五五・八八五二
奉天	奉天八幡町五 電話四七二七
哈爾賓	哈爾賓水道街六一號地 電話四七七五 郵便私書函 哈爾賓埠頭區 私書函四〇四號
上海	上海四川路四九號 三井物產上海支店內

積算電力計

登録 マツダ 商標

I-4 型

D-30型

完全なる設備と優秀なる技術とにより嚴密なる試驗を經て完成せる積算電力計は比類なき特質を有す

東京電氣株式會社

川崎市

内面半艶

マツダランプ

砂糖箱の破損は

他の容器に入れかへればすむものです。然し**ランプ**は相當の壽命をもち、斷線する迄電氣料を支拂つて行かねばならぬものですから**ランプ**の良否の家庭經濟上及ぼす影響は大きいものがあります。最も經濟な**マツダランプ**の御使用を願ひます。

川崎市

東京電氣株式會社